

調査表1

第3次伯耆町総合計画（令和3～7年度）
取組状況調査結果表
(令和7年3月末現在)

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【重点施策】																				
1 省・再生エネルギーと循環型社会の推進																				
		1 低炭素社会の推進	実 施	実 施	実 施	实 施	实 施	・省エネルギー補助:太陽光6件、蓄電池8件 ・可燃ごみ減量化:R5実績2,120t→R6実績1,981t(△139t)	・省エネルギー補助の継続実施 ・可燃ごみ減量化の継続実施(生ごみみたい肥化、紙おむつ燃料化) ・公共施設への太陽光発電設備導入調査及び設置促進								環境整備室			
		2 廃棄物の発生抑制・再利用・再資源化の実践	実 施	実 施	実 施	实 施	实 施	・布類の常設回収、混合ごみの拠点回収(燃料化)実施 ・古紙回収倉庫による常設回収 ・布類の収集 ・古紙類(ミックスペーパー)の収集 ・給食センター等公共施設生ごみの堆肥化 ・モデル集落による生ごみ収集・リサイクル処理	・布類、混合ごみの常設回収(燃料化)実施 ・古紙回収倉庫による常設回収 ・布類の収集 ・古紙類(ミックスペーパー)の収集 ・給食センター等公共施設生ごみの堆肥化 ・モデル集落による生ごみ収集・リサイクル処理								環境整備室			
2 持続可能で強靭な質の高いインフラの整備																				
		1 生活道路、安全な通学路の充実	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	継続実施 ・町道根雨原大坂線 ・町道溝口中央線 ・町道吉長遠藤線 ・国道181号線根雨原バイパス新規実施 ・町道吉定大原線完了 ・町道駅前河岡線 ・町道立岩林ヶ原線 ・町道押口遠藤線 ・町道岸本4号線	町道改良事業の実施 ・町道籠原柄原線(H25~R3)・町道根雨原大坂線(H28~R11)・町道溝口中央線(H29~R10)・町道駅前河岡線(H30~R6)・町道大倉大原線(R2~R4)・町道吉長遠藤線(R4~R7)・町道立岩林ヶ原線(R4~R6)・町道押口吉長線(R4~R6)・町道岸本4号線(R4~R6) 改良延長 L=2,300m 国道181号線根雨原バイパス(根雨原～佐川)を始めとした国県道改良の要望								環境整備室			
		2 道路橋梁及び上下水道施設の老朽化対策と長寿命化	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	橋梁長寿命化のため1橋の修繕を実施。 路面の老朽化対策のためL=300mの路面修繕を実施。	橋梁長寿命化計画に基づき7橋の修繕を予定。 路面性状調査の成果により順次、舗装修繕を予定。 上下水道施設は、上水道施設改良事業(R4~R13予定)、農業集落排水機能強化事業第1期(R4完了)及び第2期(R7~R11)の実施を予定。							環境整備室・上下水道室				

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
3 持続可能な地域交通の確保																		
		1 地域性や生活スタイルに合わせた地域交通の検討・再編	実施	実施	実施	実施	実施	・運転手不足に伴い、スクール運行の一部を既存路線バス利用とし、町が運行するスクールバスの便数を削減する見直しを行った。 ・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施。 ・必要に応じてバス事業担当者による定期連絡会議を開催し、情報共有を行った。	他市町村のMaaS等の事例や導入状況を参考に時代に合った利用しやすい運行方式や利用状況に見合った運行となる様、状況把握しながら検討を進めていく。							経営企画室		
		2 過疎高齢化に対応した生活交通の検討	実施	実施	実施	実施	実施	・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施。 ・必要に応じてバス事業担当者による定期連絡会議を開催し、情報共有を行った。	他市町村で実施されているDoor-to-Door運行等を参考に、過疎高齢化進む地域の状況把握を行いながら、必要に応じて検討を進めていく。							経営企画室		
4 情報通信ネットワークとIoTの利活用																		
		1 第5世代移動通信システム(5G)等の活用に向けた検討	実施	実施	実施	実施	実施	鳥取県地域DX推進会議・デジタルテレビ部会において県を通じキャリアに5Gエリア早期拡大を要望。5Gニーズ及び基地局の設置場所として提供できる可能性のある公共施設の情報を提供。	県内での5Gエリア拡大を目指し、最低でも日ごろ住民が利用する地域での4G一社を利用可能とするよう要望を予定。							町づくり推進室		
		2 Society5.0の実現に向けた新技術の活用検討	実施	実施	実施	実施	実施	鳥取県ICT共同化推進協議会で総合型GISシステム検討部会へ参加。協議。	総合型GISシステム等の技術活用の検討を実施。活用可能な技術について多角的な視点で導入の検討を進めていく。							町づくり推進室		
5 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進																		
		1 災害に強いまちづくりの推進	実施	実施	実施	実施	実施	木造住宅の耐震診断及び危険ブロック塀除却・改修に対して補助金を交付した。木造住宅耐震診断6件、ブロック塀除却1件・改修1件	地震により倒壊の恐れがある木造住宅の耐震対策、ブロック塀の除却・改修に対して補助を行う。							総務課		
		2 消防体制の充実	実施	実施	実施	実施	実施	消防団活動に必要な活動服等を更新した。 また、自主防災組織の資機材等整備への補助金を交付した。 消防施設整備補助金23件(器具購入 17件、防火水槽修繕4件、消火栓修繕2件)	消防団活動に必要な資機材を年次的に更新する。 また、自主防災組織の資機材整備への補助を行う。							総務課		

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
		3 拡大する空き家への対応	実施	実施	実施	実施	実施	空家除去に対する補助金を交付した。	補助件数 9件 個人 9件 7,499,800円	伯耆町内で増加しつつある空家への対策として、除却に対する補助制度を創設し、空家の解消を図る。今後も、継続的に事業を行う。							総務課

【分野別施策】(1)生活環境

①環境保全																	
1 自然 環 境 の 保 全	1 住民参加の 自然保護活動	未 実 施	未 実 施	実 施	实 施	实 施	・環境美化・保全の広報、啓発実施 4月、10月環境美化行動実施 日野川一斎清掃は実施検討中	・環境美化・保全の広報、啓発実施 4月、10月環境美化行動、及び日野川一斎清掃の実施								環境 整備 室、商 工觀 光室	
	2 自然との共 生意識の啓発	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・企業との森林環境保全事業 (とつり共生の森事業) コカコーラウエスト:未実施 (金屋谷地区 3.1ha) NTTドコモ:協定終了 トラック協会:実施(花回廊 1.1ha) 山陰合同銀行:実施(丸山 0.8ha) ニッポン高度紙工業:実施 (花回廊 3.22ha)	企業との森林環境保全事業を実施する。 ・企業との森林環境保全事業 (とつり共生の森事業) コカコーラウエスト (金屋谷地区 3.1ha) NTTドコモ(坂長地区 6.0ha) トラック協会(花回廊 1.1ha) 山陰合同銀行(丸山 0.8ha) R4実施予定 ニッポン高度紙工業 (花回廊 3.22ha)						農林 室			
	3 森林管理に 対する助成制 度	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	地域の森林管理を円滑に行うため、森林経営計画の策定に支援を行った。 ・丸山 240千円 ・根雨原 1,000千円 森林整備を促進するため、間伐材搬出への支援を行った。 間伐材搬出補助事業補助金 ・西部森林組合 307千円 ・日野森林組合 1,116千円	地域の森林管理を円滑に行うため、森林経営計画の策定に支援を行う。 策定済 13地区 ・大坂、金屋谷、大倉、根雨原、二部、父原、宮原、須村、大原、久古、清原、真野、番原 ・今後策定予定地区 福兼、畠池、坂長						農林 室			
	の 2 推 進 管 理 対 策	1 河川水の水 質検査	实 施	实 施	实 施	实 施	15河川(45箇所)で検査	継続実施						環境 整備 室			
	2 公害防止	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	近年、臭気対策が進められていることから、出荷計画の送付と何かあつた場合に随時協議会を開催するようにした。	継続実施(臭気対策が進められていることから、出荷計画の送付と何かあつた場合に随時協議会を開催するようにした。)					環境 整備 室				

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
(ごみ・し尿) ・伯耆町一般廃棄物処理基本計画に基づき、可燃ごみ処理施設の整備を行います。 ・ごみの分別排出の徹底、資源回収活動の支援により、ごみの減量化、リサイクル化を推進します。 ・循環型社会実現にむけた住民啓発、環境教育を実施します。	2 環境管理対策の推進 3 成環と境実意識の実践 4 廃棄物処理 5 リサイクルの推進	3 ごみ処理	実施	実施	実施	実施	実施	・大型生ごみ処理機貸出事業 集落及び事業所への大型生ごみ処理機の貸出(大山アーカントリー、こしきが丘区) ・生ごみ処理容器購入補助 実績無 ・モデル集落による生ごみの収集・堆肥化	継続実施	リサイクル率 (実際にリサイクルされている割合)	31.9% (H30実績)	34.0% (R2実績)	35.1% (R3実績)	35.5% (R4実績)	35.2% (R5実績)	35.0%	環境整備室
			実施	実施	実施	実施	実施	協議等の都度実施及び要綱に基づく指導。(R6:3件) 開発協議に係る手続きフローを町HP上で周知。									
		1 環境美化、公衆衛生に関する住民意識の高揚	実施	実施	実施	実施	実施	・環境美化・保全の広報、啓発実施 6月集落一斉清掃 4月、10月環境美化行動	町づくり推進室、商工観光室								
			実施	実施	実施	実施	実施	・環境美化・保全の広報、啓発実施 6月集落一斉清掃 4月、10月環境美化行動									
		1 広域可燃ごみ処理施設整備事業 2 不法投棄監視業務	実施	実施	実施	実施	実施	・R13年度まで既存施設延命化 (鳥取県西部圏域内の可燃ごみ処理計画)	環境整備室								
			実施	実施	実施	実施	実施	第2、第4水曜日に定期パトロール実施。									
		1 分別収集の啓発 2 ごみ減量化、再資源化にむけた啓発活動 3 紙おむつ燃料化事業	実施	実施	実施	実施	実施	・廃棄物減量等推進員会の開催(年1回) ・廃棄物減量等審議会の開催	環境整備室								
			実施	実施	実施	実施	実施	・町報、CATV及び行政サイトによる広報 ・廃棄物減量等推進員による啓発活動の推進	環境整備室								
			実施	実施	実施	実施	実施	・事業系紙おむつリサイクルの実施 R6処理量192t ・燃料化装置、ベレットボーラーの点検・修繕									

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
③省エネルギー	・地球温暖化対策に積極的に取り組みます。 ・庁舎等、公共施設等の節電や省エネルギー化を推進します。	進1 新エネルギーの導入促	1 太陽光発電システム等設置補助	実施	実施	実施	実施	太陽光発電システム等設置補助 ・太陽光発電システム…6件 総出力34.4kw ・定置用蓄電池…8件 ・薪ストーブ等…4件	太陽光発電システム等設置補助 ・太陽光発電システム ・家庭用燃料電池 ・定置用蓄電池 ・薪ストーブ等	自然エネルギーの導入 (町の補助で設置された自然エネルギー設備(太陽光発電)の総発電能力)	(H17～ R1) 1,005k w	(H17～ R3年) 1,030k w	(H17～ R4年) 1,057k w	(H17～ R5年) 1,100k w	(H17～ R6年) 1,135k w	(H17～ R7年) 1,105k w	環境整備室	
		る2 公共施設化の省エネルギーによ	1 公共施設の節電	実施	実施	実施	実施	ノー残業デイ、ライトダウンについては、継続実施。エコアラームを活用し、中長期的な節電対策を行った。	ノー残業デイ、ライトダウンについては、継続実施。エコアラームを活用し、中長期的な節電対策を継続していく。								総務課	
		2 クールビズ、ウォームビズ運動の推進		実施	実施	実施	実施	5～9月の間、ノーネクタイ(ポロシャツ可)等のクールビズを実施。	5～9月の間、ノーネクタイ(ポロシャツ可)等のクールビズを実施。								総務課	
		3 低燃費自動車導入の検討		実施	実施	実施	実施	低燃費自動車の導入はなし。引き続き、電気用自動車充電器の増設について検討をした。	引き続き、低燃費自動車の導入、電気用自動車充電器の増設について検討する。								総務課	
		た3 住民啓発	1 省エネルギーに関する広報活動	実施	実施	実施	実施	・夏の屋間の節電対策として県内で実施する「とつとりクールシェア」の協賛施設の登録	継続実施								環境整備室	
		2 学校・事業所での環境教育		実施	実施	実施	実施	・とつとり環境教育・学習アドバイザー制度に係る情報提供	継続実施								環境整備室	
【分野別施策】(2) 生活基盤																		
① 道路網	(町道・広域道路) ・広域道路については、関係機関と連携し、整備を進めます。	整1 備広 促域 進道 路の	1 国道181号根雨原バイパス(根雨原～佐川)	実施	実施	実施	実施	一部改良工事実施	継続実施(県協議)									環境整備室
			2 県道大滝白水線(大滝～大坂)	実施	実施	実施	実施	一部改良工事実施	継続実施(県協議)									環境整備室

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
・幹線道路については、各集落の要望等を聞きながら検討し、計画的に整備事業を進めます。 ・集落内道路については、各集落から提出された5か年事業計画に基づき、補助事業で改良等を行ないます。 ・町道のうち、町が管理する箇所・内容と地元に管理を依頼する箇所・内容を整理します。	2 町道の整備促進	1 町道改良事業(交付金事業)	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施 ・町道根雨原大坂線 ・町道溝口中央線 ・町道吉長遠藤線 新規実施 ・町道吉定大原線 完了 ・町道駅前河岡線 ・町道立岩林ヶ原線 ・町道押口遠藤線 ・町道岸本4号線	・町道籠原柄原線(H25～R3) ・町道根雨原大坂線(H28～R11) ・町道溝口中央線(H29～R10) ・町道駅前河岡線(H30～R6) ・町道大倉大原線(R2～R4) ・町道吉長遠藤線(R3～R7) ・町道立岩林ヶ原線(R3～R6) ・町道押口吉長線(R3～R6) ・町道岸本4号線(R3～R6)	(改良路線数) 改良延長 (新たに整備する道路)	(4路線) 0m ※R3～R7年度合計數値	110m ※R3数値	160m	0m	587.4m ※R3～R7年度合計數値	(4路線) 1,650m ※R3～R7年度合計數値	環境整備室
		2 町道改良事業(狭あい道路整備事業)	完了	完了	完了	完了	完了	R3年度完了	狭あい道路整備事業はR3完了済。 必要に応じて事業を行う。							環境整備室	
		3 橋りょう修繕	実施	実施	実施	実施	実施	修繕実施橋梁 N=1橋 ・登山橋(1工区)	長寿命化計画に基づき11橋改修を行う ・宝殿橋 ・向田橋 ・三反田橋 ・三部橋 ・中島橋 ・二部中央橋 ・間地川橋 ・杢田橋 ・登山橋 ・畠池橋 ・無名橋5							環境整備室	
		4 除草・除雪	実施	実施	実施	実施	実施	幹線町道を中心に実施	幹線町道を中心に実施(R3～R7)							環境整備室	
		5 町道改良の単独補助	実施	実施	実施	実施	実施	町道改良実施路線 2路線	年度ごとに申請のあった道路改良について補助を行う。							環境整備室	
		6 ボランティアによる協同作業	実施	実施	実施	実施	実施	ボランティア参加団体 40団体	年度ごとに登録申請のあった町道清掃等のボランティア作業について報償費を支払う。							環境整備室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7					
(農道・林道) ・農道・林道の利用度に応じた 計画的な補修等を実施 します。 ・新たな整備要望を検討し、整 備可能なものは年次的に整備 します。	促山3 進米中 子国 線横 の断 4自 動車 線車 道の 岡	1 米子IC～蒜 山IC間の4車 線化	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	関係機関への要望	関係機関への要望(R3～R7)							環境 整備 室					
		の 4 整農 備道	1 単町土地改 良事業	实 施	实 施	实 施	实 施	集落等で行う農道の維持管理等へ の補助の実施。 申請 0件	集落等で行う農道の維持管理等へ の補助を行う。												
		の 5 整林 備道	1 単町林業事 業(林道)	实 施	实 施	实 施	实 施	集落等で行う林道の維持管理等へ の補助の実施。 申請 1件	集落等で行う林道の維持管理等へ の補助を行う。												
(2)上下水道		な 1 管上 理水 道施 設の 適切	1 水道施設の 適切な管理運 営	实 施	实 施	实 施	实 施	料金賦課徴収、施設維持管理、水 質検査、施設修繕等を行い、安心 安全で安定したライフラインの確保 を継続した。	料金賦課徴収、施設維持管理、水 質検査、施設修繕等を行い、安心 安全で安定したライフラインの確保 を継続する。								上下 水道 室				
(上水道) ・老朽管路、老朽施設の計画 的な更新を行い、水道施設の 適切な管理に努めるとともに、 安全安心な水道水の供給を図 ります。			2 老朽管、老 朽施設改良	实 施	实 施	实 施	实 施	真野配水池増設工事 V=50m ³ 幡ヶ郷地内老朽管更新 Φ75 L=81.3m	上水道安定供給のため老朽化した 管路・施設改良等を行う。 真野配水池更新工事、老朽管更新 L=320m												
			2 下 水道施 設の 適切 な管 理運 営	1 下水道施 設の 適切な管 理運 営	实 施	实 施	实 施	实 施	料金賦課徴収、施設維持管理、水 質検査、施設修繕等を行い、安心 安全で安定したライフラインの確保 を継続した。	料金賦課徴収、施設維持管理、水 質検査、施設修繕等を行い、安心 安全で安定したライフラインの確保 を継続する。		水洗化率 (下水道水 洗化人口 ÷下水道 普及人口)	90.0%	89.6%	89.1%	89.4%	89.6%	92.0%			
			2 处理区域の 再編(須村、久 古、遠藤、半 川)	实 施	完 了	完 了	完 了	完 了	R4年度完了	R4年度、須村処理場をポンプ場へ 改築し、久古処理区への送水を行 い、事業完了予定としている。											
(下水道・農業集落排水) ・公共下水道施設、農業集落 排水施設、小規模集合排水施 設、浄化槽施設の適切な管理 を行うとともに、下水道接続率 のさらなる向上を図ります。 ・公共下水道施設、農業集落 排水施設、小規模集合排水施 設の老朽化による更新につい ては、緊急度、重要度、維持 管理の効率化等を勘案し、計 画的に実施します。 ・須村、久古、遠藤、半川処理 区の区域再編を図り、維持管 理の効率化を図ります。 ・浄化槽施設は、生活排水処 理基本計画に基づき、年次的に に整備を行い、適切な管理を 行います。	3 個別合併処 理浄化槽整備 事業の整備促 進	3 個別合併処 理浄化槽整備 事業の整備促 進	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	R6年度、新規設置なし R7年度の浄化槽新規設置希望の 取りまとめを実施した。	毎年、対象区域へ希望取りまとめを 行い、実施を予定している。												

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
・地域情報(コミュニティチャンネル)のWEB対応に向けた検討を行います。 ・公衆回線や防災無線等を前提とした、集落放送施設の通信基盤再構築への検討を行います。 ・公共的な通信基盤(携帯電話等)の通信網の充足や高速化などへの要望を通信事業者へ行います。	3 情報通信環境の充実 防 4 止個人情報保護、情報漏えい 慮 5 し災害機器強選定、環境に配	1 CATV施設管理の充実	実施	実施	実施	実施	実施	放送センター長寿命化 R6年度 送出設備機器更新 (伊藤忠ケーブルシステム株式会社) R7年度に収録機器更新を予定。	放送センター大規模改修に向け、R4年度に設計、R5年度に工事を実施する予定。 以後、年次的な機器更新を検討する。								町づくり推進室
			検討	実施	実施	実施	実施	防災無線更新時期に更新する予定。(更新時期は未定) 集落有線放送の代替として、携帯電話等のアプリケーション等についても情報収集は行った。	集落有線放送を廃止し代替設備を構築、併せてSNS等の活用も検討※プロジェクトが稼働していないので予定が不明								町づくり推進室
			実施	実施	実施	実施	実施	鳥取県地域DX推進会議・デジタルテレビ部会において現況調査を実施。それに基づき、県を通じキャリアに通信環境の改善や5Gエリア早期拡大を要望。不感エリアや5Gニーズ等の情報提供を実施。	県内での5Gエリア拡大を目指し、最低でも日ごろ住民が利用する地域での4G一社を利用可能とするよう要望を予定								町づくり推進室
		2 セキュリティポリシー等の適正運用の実施	実施	実施	実施	実施	実施	H29.12月改定のセキュリティポリシーの適切な運用を行っている。国のセキュリティポリシーが「ライン」と本町の現行セキュリティポリシーとの差異確認を実施し、標準化後の改定を予定する。	町セキュリティポリシーを必要に応じ、随時、改正を実施する。 セキュリティポリシーの適切な運用を行う。								町づくり推進室
			実施	実施	実施	実施	実施	R4に整備した情報セキュリティレベルを維持。運用管理を行った。	次期ネットワーク改修におけるセキュリティ対策強化の実施。情報セキュリティレベルの維持。								町づくり推進室
			実施	実施	実施	実施	実施	J-lisのオンライン研修を一般職員及び会計年度任用職員の一部を対象とし、実施。 131名受講	毎年オンライン研修を行うこととし、職員の情報リテラシー向上を図る。								町づくり推進室
		3 職員研修の充実	実施	実施	実施	実施	実施	ネットワーク障害発生時でも証明書等発行できるシステム環境を確保し、BCP対策の維持	次期ネットワーク改修において、バックアップ機能の強化及びレプリカサーバの構築により、BCP対策を向上させる。その後のBCP対策の維持。								町づくり推進室
			検討	実施	実施	実施	実施										

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室			
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
(4)住宅・公園・緑地	<p>(住宅) ・豊かな自然環境で適切な土地利用が図られ、誰もが快適に生活できるまちを目指します。 ・民間事業者と連携して快適な住環境の整備を行います。 ・町営住宅団地の分譲を促進します。</p> <p>(公園・緑地) ・自然環境と調和した快適空間提供していきます。</p> <p>(地籍調査) ・実施中の区域に加え、幡郷の一部(大寺地区)、溝口地区(溝口、長山)を実施します。国の基本方針に沿い、災害想定区域を主とし、現在の地籍調査完了区域の隣接地から実施していきます。 ・地籍調査事業の事前調査の一環として、公図の電子化を進めています。</p>	の 1 販 売 促 進 宅 団 地	1 販売PR活動	実施	完了	完了	完了	完了	R4年度完了	完売により完了 R4年度 1区画売却(28区画中28区画売却済)						環境 整備 室			
			2 定住促進	実施	完了	完了	完了	完了	R4年度完了	完売により完了 R4年度 1区画売却(28区画中28区画売却済)									
		よ 2 る 開 土 発 地 指 利導 用要 綱等 に	1 開発指導要綱等による地域特性に合った開発事業の指導	実施	実施	実施	実施	実施	協議等の都度実施及び要綱に基づく指導。 開発協議に係る手続きフローを町HP上で周知。	協議等の都度実施および計画順守等の指導。 開発協議に係る手続きフローを町HP上で周知。	「暮らしや すい住宅 地や住宅 の整備・供 給」の満足 度 【まちづくり アンケート 調査結果 【平均点】】	1.64点 ※R2.7 実施ア ンケート 結果	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	1.70点	経 営 企 画 室	
			備 3 促集 進落 公 園 等 の 整	1 公共施設整備事業(単町補助)	実施	実施	実施	実施	実施	公共施設整備事業 ・公園整備 1件 (三部二区)	集落の5か年計画に基づき、集落公園の整備を100%行い、集落公園維持の支援を行う。								
		2 コミュニティ助成事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	一般コミュニティ助成事業採択:1件 (久古区)	各集落等からの申請に応じ、県を通じて自治総合センターへ申請し、集落の大規模整備等の支援を行う。	町づくり 推進室								
			4 地 籍 調 査 の 推 進	1 地籍調査事業	実施	実施	実施	実施	実施	<立会> 大殿 0.08km ² 岩立 0.19km ² <基準点設置・測量> 大殿 0.08km ² 岩立 0.19km ² <図面作成・面積計算> 金屋谷 0.48km ² <本閲覧> 大殿 0.12km ² 金屋谷 0.61km ²	現在進行中の金屋谷・岩立地区及び新規地区の大殿地区の地籍調査を実施する。 岩立 0.19km ² 金屋谷 0.48km ² 大殿 0.92km ²	地籍調査 事業 (地籍調査 実施面積)	28.1 km ²	29.1 km ²	29.3 km ²	33.7 km ²	34.1 km ²	30.5 km ²	地籍 調査 室
			2 公図電子化事業	実施	実施	実施	実施	実施	三部の一部の公図電子化 約1.35km ² 約1,800筆	R7までに二部地区の公図電子化の完了 <二部の公図電子化未完了範囲> 約3.75km ² 約1,200筆 <三部の公図電子化未完了範囲> 約2.70km ² 約2,000筆									

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
(5)消防・防災	<p>(消防) ・消防団員確保に取り組みます。 ・消防団員の資質向上を図ります。 ・消防施設、防災行政無線設備の計画的な更新と適正な維持管理を行います。</p> <p>(防災) ・災害に強いまちづくりを進めます。 ・災害を防ぐまちづくりを進めます。 ・自主防災活動の充実に努めるとともに、引き続き育成支援を図ります。 ・治山・治水事業について、県や国と連携して事業を進めます。</p>	1 消防団員の資質向上と活性化	1 消防団への入団勧誘	実施	実施	実施	実施	各団員による入団勧誘の実施。 R6年新入団員6名	条例定数の163人を目指し、 ・各分団による入団勧誘の実施する。 ・入団促進についての、HP掲載、チラシ配布を実施する。	消防団員数 (消防団員の推移)	140人	140人	136人	137人	138人	163人	総務課
			2 消防学校への入校教育	未実施	実施	実施	実施	例年、新入団員を消防学校へ入稿させている。 R6年度は1名入校	消防学校で開催される消防団向けの教育課程に団員を入校させ、消防団員の資質向上を図る。								
			3 消防服等の安全装備の更新	実施	実施	実施	実施	各分団に必要物品の聞き取りを行い、装備の充実を図った。	各分団に対し、不足する安全装備品の調査を毎年行い、装備を充実させる。								
			4 魅力ある消防団への転換	実施	実施	実施	実施	操法大会への参加等により消防技術の向上を図った。町防災訓練の際に、住民に対する消火栓の使い方指導を実施。	消防技術の向上(訓練、研修)や消防車の更新など、住民から信頼され、魅力ある消防団を目指す。								
			5 女性消防団員の入団促進	実施	実施	実施	実施	役場新規採用職員に勧誘を実施。 新入団員(女性)1名	・役場新規採用職員(女性)への入団勧誘の実施 ・入団促進チラシの配布や、HPへの記事掲載								
		備 2 充消防体制、消防施設の整	1 消防ポンプ自動車更新事業	未実施	検討	検討	実施	消防団幹部会にて、消防ポンプ車、積載車の希望について聞き取りを実施。R6年度は第5分団の積載車を更新。(消防庁貸与)	年次的に消防車を更新する。							総務課	
			2 消火栓、防火水槽の整備	実施	実施	実施	実施	消火栓移設 948,200円(1件) 消火栓修繕費 606,100円(5件) 防火水槽設置1基 19,280,800円(久古)、設計2基 2,970,000円(真野・須村)	・緊急修繕が必要な消火栓の修繕を随時行う。 ・年次的に防火水槽の新設又は更新を行う。								
			3 消防関係装備の充実	実施	実施	実施	実施	消防施設整備補助金 4,302,000円 23件(17集落)	各集落に対して消防資器材を更新するための消防施設整備補助金を実施する。								
		災 3 意防識災の対策高揚の充実、防	1 防災訓練の実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町防災の日の併せて全町を対象に避難訓練を実施。	年1回程度防災訓練を実施する。							総務課	
			2 災害時要援護者台帳等の作成	実施	実施	実施	実施	登録の継続確認を全登録者に対して実施。 新規登録・修正を随時実施。	台帳の新規登録、修正を随時行う。 また、3年に1回登録継続の意思確認等を行う。(次回R4年実施)								
			3 災害時連携備蓄品の確保	実施	実施	実施	実施	連携備蓄品の更新を実施。	連携備蓄の更新を行う。								

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
3 防災対策の充実、防災意識の高揚	4 鳥取県被災者住宅再建支援基金の積立	実施	実施	実施	実施	実施	実施	被災者住宅再建支援金への積み立てを実施。 R6年度末21.0億円	被災者住宅再建支援基金への積立を行う。								総務課
	5 土砂災害特別警戒区域内の防災支援の検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	レッド区域内住宅の移転費用助成の検討を実施。	レッド区域内住宅の移転費用助成の検討								総務課
	6 防災拠点(避難所、備蓄倉庫、水防倉庫等)の強化推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	県からスポットクーラー(5台)が配布されたため、避難所として使用する各小中学校へ配備した。	防災車庫等の整備を必要に応じ随時行う。								総務課
	7 住宅の耐震化の促進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	木造住宅の耐震診断及び危険ブロック塀除却・改修に対して補助金を交付した。木造住宅耐震診断6件、ブロック塀除却1件・改修1件	地震により倒壊の恐れがある木造住宅の耐震対策、ブロック塀の除却・改修に対して補助を行う。								総務課
	8 日野川水系大規模氾濫時の対策事業の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	日野川水系大規模氾濫時の対策協議会への参加及び協議会の決定に基づく事業実施。	日野川水系大規模氾濫時の対策協議会への参加及び協議会による取組方針に基づく事業実施								総務課
	9 防災広場整備事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	計画的な建設発生土の搬入により造成を行う。	計画的な建設発生土の搬入により造成を行う。								総務課
	10 防災行政無線設備整備事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	防災無線の長寿命化のための機器交換を実施し、今後の更新に向けた協議を実施。 親卓装置部品交換(新規HUB取替)実施	防災無線の長寿命化を図るとともに、今後の更新等について検討を行う。								総務課
	組4 組織自 主動防 災	1 自主防災組織活動の充実	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町防災の日に非常用飲料水等の配布を実施。	・防災の日に非常食等の配布 ・自主防災組織活動補助金の実施								総務課

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
5 治山・ 治水事業の 推進	1 砂防(国土 交通省) 2 砂防(鳥取 県) 3 急傾斜地崩 壊防止事業 (鳥取県)	1 砂防(国土 交通省)	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・添谷2号砂防堰堤 ・添谷3号砂防堰堤 ・上野砂防堰堤	継続実施(国交省協議)								環境 整備 室	
		2 砂防(鳥取 県)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・佐陀川 ・森脇川 ・奥山川 ・足谷川 ・三部支川 ・上代支川 事業完了 ・武王谷川	継続実施(県協議)								環境 整備 室	
		3 急傾斜地崩 壊防止事業 (鳥取県)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・三部地区 ・上細見南地区 ・船越地区 ・長山地区 ・貴住地区	継続実施(県協議)								環境 整備 室	
⑥ 防犯・交通安全・消費生活																		
1 防犯意 識の啓 発 の 2 整 備 犯 施 設	1 防犯教育の 実施 2 少年を守る 店巡回の実施 3 こども110番 の家の周知と 推進 4 防犯に関する 広報(防災無 線、CATV)	1 防犯教育の 実施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	学校安全計画に基づき、各学校で 生活安全(防犯含む)の指導実施。	各学校で生活安全の指導を警察や 教育委員会と連携し実施する。また、各種啓発活動を行う。								総務 課	
		2 少年を守る 店巡回の実施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	町内の事業所を訪問し、「少年を守 る店」事業概要を配布。青少年の問 題行動注視だけでなく、子供の見守 り活動についても協力をお願いし た。 令和6年8月16日(金) 令和6年8月19日(月) (訪問事業所) 幡郷地区 13か所 溝口地区 12か所	少年を守る店巡回の継続実施								生涯 学習 室	
		3 こども110番 の家の周知と 推進	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	黒坂警察署管内防犯協議会の事業 として取組み中。	黒坂警察署管内防犯協議会と連携 し、こども110番の家の周知と推進を 行う。								総務 課	
		4 防犯に関する 広報(防災無 線、CATV)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	不審電話などの事案が生じた際 に、警察や住民からの情報提供をも とに防災行政無線等で広報を実 施。	不審電話等の事案が生じた際に、 その都度黒坂警察署から情報提 供を基に防災行政無線で広報を行 う。								総務 課	
	1 防犯灯の設 置	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	LED街灯整備事業 28集落(新規17基 更新17基 修繕 25基)	要望のあった集落内の危険個所へ 防犯灯を設置し、地域防災力の強 化を実施する。	「防犯・交 通安全・消 費生活に 関する取 組」の満足 度 (まちづくり アンケート 調査結果 【平均点】)	1.64点 ※R2.7 実施ア ンケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	1.70点	総務 課	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
(交通安全) ・生活道路や交通安全施設の整備を進めます。 ・関係機関と連携して交通安全意識の高揚を図ります。	3 交通 安全 施設 の整備	1 カーブミラー・ ガードレールなど の交通安全施設の整備	実 施	実 施	実 施	实 施	实 施	交通安全施設等整備計画に基づき 交通安全施設を設置 ・区画線工 L=6,160m・道路反射鏡 設置 N=5基・道路反射鏡撤去 N=2基	地元要望を基に作成する第6次交 通安全施設等整備計画(R4～R6)、 第7次交通安全施設等整備計画 (R7～R9)により交通安全施設の設 置を行う。	3件	1件	0件	0件	0件	1件	環境 整備 室	
		2 安心して通 行できる道路 環境の整備	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	「第5次伯耆町交通安全施設整備計 画」に沿って、R6年度の交通安全整 備を各団体で実施。 (R6町整備 6件) 計画期間をR7～R9とする「第6次伯 耆町交通安全施設整備計画」を策 定した。	「伯耆町交通安全施設整備計画」に 沿って交通安全施設整備を行う。								
	4 交 通 事 故 防 止 及 び 交 通 安 全 意 識 の 啓 発	1 高齢者、子ど もへの交通安全教育の充実	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	保育所、小中学校保護者の会が必 要とする交通安全啓発用品を渡す とともに交通安全啓発を行った。 ○交通安全啓発(フレスボ開催) R6参加者:春 20名、秋50名 例年11月頃に、県主催による高齢 運転者実車講習会へ参加いただき 交通安全啓発を行うこととしている。 社会福祉協議会等を通し参加者を 募っているが、令和6年度は応募無 し。 (参考) H30:4名、R1:2名、R2:6名、 R3 コロナにより中止、R4:0名、 R5 0名、R6 0名	保育所、小中学校保護者の会に交 通安全啓発用品を渡すとともに交 通安全啓発を行う。 高齢者については、県実施の高齢 運転者実車講習会に参加(希望者) いただく等、交通安全啓発を行う。	交通 死 亡 事 故 件 数 (過去5年 間で発生 した交通 事故のうち 死亡事故 数)	3件	1件	0件	0件	0件	1件	経営 企画 室
		2 交通安全の 啓発と交通マ ナー向上	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	交通安全運動を年に4回実施。	交通安全運動を年に4回実施。 江府町と合同で啓発活動年に4回 実施。								
		3 運転免許証 自主返納者へ の支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	運転免許自主返納者へ支援を行 った。 令和6年度 申請者数18名 (返納者41件) (参考数値) R1 23名(返納者49件) R2 29名(返納者49件) R3 19名(返納者51件) R4 15名(返納者47件) R5 10名(返納者30件) R6 18名(返納者41件)	広報等で周知し、制度利用者の促 進を図る。								

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
(消費者行政) ・関係機関と連携し、消費生活相談体制の整備を行います。 ・住民の被害拡大を防止し、安全・安心な生活の確保に努めます。	5 消費生活相談体制の充実	1 消費生活相談窓口の設置及び周知	実施	実施	実施	実施	実施	電話・来庁による相談件数 20件	県、警察などと連携した相談・監視体制を構築する。								住民課
		2 職員の専門的な知識の向上(研修への参加等)	実施	実施	実施	実施	実施	県主催の研修に1名参加した。	研修等に参加し担当職員のスキルアップを図る。								住民課
		3 他部署や関係機関(鳥取県、警察)との連携	実施	実施	実施	実施	実施	県・警察と連携した相談件数 5件	県、警察などと連携した相談・監視体制を構築する。								住民課
	6 推進消費者教育及び啓発	1 地域や学校での消費生活出前講座の開催	実施	実施	実施	実施	実施	出前講座4回開催 ・高齢者学級(4回・70人)	希望する地域に赴き、出前講座を開設する。								住民課
		2 CATV、防災無線、ホームページによる住民への情報提供及び啓発	実施	実施	実施	実施	実施	特殊詐欺等発生状況により、防災無線や文字放送で住民に注意喚起した。	特殊詐欺等発生状況により、防災無線や文字放送で住民に注意喚起する。								住民課
	7 体高制齢者の確保の被害防	1 高齢者見守りネットワーク連絡会等への情報提供	実施	実施	実施	実施	実施	認知症SOSネットワーク連絡会(旧:高齢者見守りネットワーク連絡会)へ参画し、高齢者担当課と協力連携を図るとともに、消費生活相談の概要等の情報提供を行った。	伯耆町高齢者見守りネットワーク連絡会へ参加し連携を図りながら消費者安全確保地域協議会の機能を持つてよう関係者と協議を図る。								住民課

1 住みよさを感じるまち

1-17

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
	(7)公共交通																	
	・公共交通機関の確保、維持を図るための取り組みを広域的に行います。 ・地域交通会議を開催し、住民生活に密着したより良い運行形態を探り、公共交通手段を確保します。	1 公共交通の確保・維持	1 交通事業者への支援	実施	実施	実施	実施	実施	・広域路線バス補助金(日ノ丸バス) 町内を運行する広域路線バス路線に対して、補助金を交付。 ・伯耆町型バス事業(日ノ丸バス・溝口タクシー) 町内のスクールバス・デマンドバス等の運行、運行管理、配車センター業務を委託。	・広域路線バス補助金(日ノ丸バス) 町内を運行する広域路線バス路線に対して、補助金を交付。 ・伯耆町型バス事業(日ノ丸バス・溝口タクシー) 町内のスクールバス・デマンドバス等の運行、運行管理、配車センター業務を委託。								経営企画室
			2 利用者のニーズ、実態に応じた運行形態の検討と見直し	実施	実施	実施	実施	実施	・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施。 ・利用者がわかりやすいデマンドバス時刻表をバス停に掲示。 ・必要に応じてバス事業担当者による定期連絡会議を開催し、情報共有を行った。	・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整 ・必要に応じてバス事業担当者による定期連絡会議を開催し、情報共有を行った。	デマンドバス利用者数 (年間のデマンドバス(有償運送)利用者数)	23,629 人 (※R1 実績)	20,327 人	18,967 人	20,558 人	21,616 人	20,000 人	経営企画室
			3 公共交通利用促進のための啓発活動	実施	実施	実施	実施	実施	デマンドバスの利用方法を広報、CATVにて周知。 (参考) 広報3月号掲載 CATV R7/2/24、3/3	スクールバス・デマンドバス利用者に向けた利用方法等の啓発活動の実施。(新型コロナウイルス感染症の感染状況次第)						経営企画室		
			4 地域交通会議の開催	実施	実施	実施	実施	実施	・運転者不足に伴う、スクールバス運行の見直しについて、地域交通会議を開催し協議を行った。 (開催日)R6.7月、R6.11月	年一回開催を基本とし、伯耆町型バス事業を中心、その他町内の地域交通について協議する。						経営企画室		

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
【重点施策】																	
1	持続可能な農業生産体制の確立	1 地域での農地維持活動の推進	実 施	実 施	実 施	实 施	实 施	・中山間地域直接支払交付金事業 642ha ・多面的機能支払交付金事業 618ha	中山間地域等直接支払交付金事業については、R2年度に第5期対策がスタートし、多面的機能支払交付金事業と合わせて、引き続き、地域での農地持活動の推進を図る。							農林 室	
		2 農地中間管理機構等の活用による農地の集約化	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	中間管理事業による農地の貸付 124件 21.0ha	人・農地プランの実質化の話し合いと合わせて、農地中間管理事業での集積を進め、地域集積協力金などを担い手に交付することで、担い手の規模拡大、維持を図る。							農林 室	
		3 農業用施設基盤の整備	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	農業水路等長寿命化・防災減災事業 ・中祖地区水路改修工事 L=232m 工事費：13,504千円 ・土地改良区事業負担金 尾高井手土地改良区 600千円 農山漁村地域整備事業 ・三部地区大仙田堰修繕工事 転倒堰修繕 1箇所 工事費：12,378千円 しっかり守る農業基盤交付金事業 23件 事業費：30,832千円	農業水利施設が機能を安定的に發揮していくために、長寿命化対策や防災減災対策を実施する。 ・林ヶ原水路改修 ・上野水路改修 ・畠池水路改修 ・宮原水路改修 ・中祖水路改修 しっかり守る農業基盤交付金事業の活用により地域の農業基盤の強化を図る。								農林 室
		4 有害鳥獣対策の強化	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	イノシシによる被害の防止のため、捕獲及び侵入防止柵の設置について支援し、被害防止を図った。 有害鳥獣対策事業 ・駆除委託料 3獣友会 279千円 ・侵入防止対策 17件 約6.1km 4,494千円 ・イノシシ捕獲奨励金 432頭捕獲 4,664千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金 13頭捕獲 130千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金上乗せ 13頭捕獲 91千円 ・ヌートリア捕獲奨励金 3頭捕獲 6千円	イノシシの生息域の拡大等により、被害が継続して発生している。また、ニホンジカの捕獲数が増加しており、個体数増が懸念される。このことから各集落等で侵入防止柵等の対策を行うとともに、出没するイノシシを捕獲し、個体数の減少を図る。								農林 室

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					⑧R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7
2 和牛ブランド化の推進など豊かな食の魅力づくり	1 伯耆町産和牛のブ ランド化のための優 良牛導入支援	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	町内和牛繁殖農家の繁殖雌牛の導入を支援した。 11農家29頭導入 1,900千円	県の市場で取り引きされる子牛は平均価格が高く、新規導入が難しいことから、町内農家が優良な雌牛を導入することを支援し、町内で飼養する繁殖雌牛の能力を高めることを支援する。							農林 室
	2 農林業と健康、安全 安心、観光等との結 びつき強化	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	●和牛等の都市部等への配送を促進。 ●配送は、東京アンテナショップ、レストラン等に実施。	継続的に和牛等の町内産物を配送し、販売路拡大を図る。							商工 観光 室
	3 学校給食における 地産地消の推進	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	生産者組織の協力を得ながら、できるだけ町内産食材を使用、町内産を調達できない場合は、できるだけ鳥取県産を使用し、地産地消の推進を図った。 学校給食食材(44品目)の県内産原材料使用割合調査の数値を基に、生産者組織からの納入分(44品目のみ)で計算(参考数値) 県内産・町産原材料使用割合 県内産 うち町産 H29 93.4% 39.7% H30 92.2% 41.1% R1 90.9% 48.6% R2 91.0% 45.2% R3 92.3% 54.1% R4 91.4% 52.8% R5 91.7% 56.3% R6 88.4% 44.5% 今後も同水準を維持していく	学校給食食材(44品目)の県内産原材料使用割合調査の数値を基に、生産者組織からの納入分(44品目のみ)で計算(参考数値) 県内産・町産原材料使用割合 県内産 うち町産 H29 93.4% 39.7% H30 92.2% 41.1% R1 90.9% 48.6% R2 91.0% 45.2% R3 92.3% 54.1% R4 91.4% 52.8% R5 91.7% 56.3% R6 88.4% 44.5% 今後も同水準を維持していく							給食セ ンター
3 農畜産物の生産、担い手農家への支援	1 地域の特性を活か した農畜産物の生産 支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	ガーデンプレイス、大山望、日光地区協議会の生産者団体への野菜の種子代等の支援及び生産資材の支援を行った。	町内にある農産物直売所等の生産者を支援し、小規模農家の経営維持、継続を支援する。							農林 室
	2 農畜産物の販売拠 点となる施策の支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	○特色ある地域野菜等支援 ・3団体 補助金額:279千円 内容:種子代等購入支援 ○安心安全な農産物生産支援 ・1団体 補助金額:234千円 内容:生産資材の導入	町内直売所において、農産物の販売促進及び農業者の安全、安心な農作物の出荷を推進し、地域農業及び地域活動を活性化を図る。							農林 室

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					⑧R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
		3 認定農業者、認定新規就農者の育成・支援	実施	実施	実施	実施	実施	・認定農業者の更新13経営体、新規4経営体の認定を行った。 ・認定農業者、準認定農業者対象の機械導入補助事業の支援(県事業7経営体、単町事業11経営体)。 ・認定新規就農者(親元就農研修生含む)への、交付金事業(2経営体)実施 ・認定新規就農者の機械導入等の支援を実施(1経営体)	・認定農業者数をR7までに50人 ・認定新規就農者(親元就農研修生含む)R7までに5人										農林室
4 広域連携による観光振興と商工業の振興																			
	1 観光PRと販路拡大の推進		実施	実施	実施	実施	実施	地域力の向上と、地域産業の振興を図るために、地域特産品等販路拡大事業を委託。 地域の農畜産物の都市部への配達を支援した。	販路拡大事業として地域農畜産物の配達に係る費用を継続して支援する。								商工観光室		
	2 観光施設・観光資源の利活用の推進		実施	実施	実施	実施	実施	・樹木高原スキー場の第3リフトの長寿命化工事(折返滑車軸交換、滑車ゴムライナー交換、ユニバーサルジョイント交換)を実施した。 ・「日本遺産の日PRイベント」に参加し、ブースを中心に宣伝活動を行った。	・施設の長寿命化に向けた必要な修繕等を検討、実施する。 ・観光資源『大山』の利活用について、日本遺産大山魅力発信推進協議会において、事業の実施と公式的な魅力発信を行う。									商工観光室	
	3 起業・創業・経営改善に取り組む事業者への支援		実施	実施	実施	実施	実施	鳥取県西部9市町村との連携、商工会等の支援組織との連携により広域的な支援と本気で頑張る産業支援事業などの町独自の支援策を実施した。 ●本気で頑張る産業支援事業 ・12事業(11団体) ・補助金額2,879千円	鳥取県西部9市町村との連携、商工会等の支援組織との連携により広域的な支援と本気で頑張る産業支援事業などの町独自の支援策を推進する。										商工観光室
	4 商工関係機関との連携による支援		実施	実施	実施	実施	実施	町商工会及び鳥取県西部産業支援センターとの連絡調整の実施。	町商工会と鳥取県西部産業支援センターとの連絡調整を引き続き図っていく。								商工観光室		

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
5 企業誘致による雇用の拡大と地域活性化		1 誘致企業を核とした観光拠点の創出	実施	実施	実施	実施	実施	令和6年9月26日に「伯耆にぎわいフードマルシェ」を開催した。 (参考) 来場者数:約4,000人	・R4年9月「伯耆にぎわいフードマルシェ」を開催する。 ・R5年度以降については、イベント実施について誘致企業を含めたプロジェクトチームにおいて協議を行い、イベントを実施していく。								経営企画室・商工観光室
		2 広域連携による企業誘致活動の促進	実施	検討	実施	実施	実施	令和2年度に、西部地域振興協議会での企業誘致に係る取り組みについて費用対効果を考慮して見直しされて以来、新たな取り組みは、実施されていないが、西部地域企業立地補助金制度は残っている。 ・補助実施 R6 1件	今後、広域で誘致活動の促進が図れる事業があれば連携して取り組んでいく。 その他、企業誘致が図れるよう、県と情報共有等を実施していく。								経営企画室
		3 地域特性を活かした企業誘致活動	実施	実施	実施	実施	実施	企業から工業団地等について問い合わせが数件あったが誘致までには至っていない。 R6年度協議した企業数 前年度からの継続1件	新型コロナウイルス感染症の影響による働き方の変化等を把握し、地域特性を活用しながら実施できる企業誘致活動を実施していく。								経営企画室
【分野別施策】(1)農林業																	
①農業	1 農業支援体制の強化	1 みんなでやらないや農業支援事業	実施	実施	実施	実施	実施	・がんばる農家プラン事業 3件 ・スマート農業社会実装加速化総合支援事業 2件 補助金額:24,670千円 (補助率 県1/3 町1/6)	県事業のがんばる農家プラン事業、がんばる地域プラン事業(一部国事業)、スマート農業社会実装加速化総合支援事業等の補助率の高い(1/2)補助事業を活用して、認定農業者を支援する。	認定農業者数 (経営体数) (農業経営基盤強化促進法に基づき町が認定した農業者数)	46経営体	47経営体	50経営体	51経営体	54経営体	50経営体	農林室
		2 大型共同利用機械導入事業	実施	実施	実施	実施	実施	・3集落実施 補助金額:2,379千円	町が認定した生産組合(農事実行組合)等が共同利用機械を導入する場合に支援する。							農林室	
		3 担い手農業者機械導入支援事業	実施	実施	実施	実施	実施	・担い手農業者機械導入支援事業 事業実施者:11経営体 補助金額:8,938千円 (補助率 町1/5)	R4年から補助率を15%→20%に上げた。補助事業の対象者である認定農業者、準認定農業者等が農地プランの中心経営体への単町補助事業を継続し、機械導入の支援を行う。							農林室	

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					⑧R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
・循環型農業の推進を図ります。 ・農地を利用した景観作物の作付により景観形成を図ります。 ・有害鳥獣の駆除による生息数の減少と、侵入防止柵の設置により農作物被害の防止を図ります。 ・「伯耆町人・農地チーム会議」(鳥取県・農協・鳥取県農業会議・伯耆町)で連携して、農業振興を図ります。	2 農業生産基盤の整備	1 農道の整備	実施	実施	実施	実施	実施	集落等で行う農道の維持管理等への補助の実施。 0件	集落等で行う農道の維持管理等への補助を行う。							農林室				
			実施	実施	実施	実施	実施	集落等で行う水路の維持管理等への補助の実施。 18件	集落等で行う水路の維持管理等への補助を行う。							農林室				
			実施	実施	実施	実施	実施	共同作業所等整備事業 事業実施主体:1組織 補助金額:108千円 (補助率 40%)	公共施設整備事業のうち共同作業所の整備を支援する。							農林室				
		2 農業生産基盤の整備	実施	実施	実施	実施	実施	イノシシによる被害の防止のため、捕獲及び侵入防止柵の設置について支援し、被害防止を図った。 有害鳥獣対策事業 ・駆除委託料 3獣友会 279千円 ・侵入防止対策 17件 約6.1km 4,494千円 ・イノシシ捕獲奨励金 432頭捕獲 4,664千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金 13頭捕獲 130千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金上乗せ 13頭捕獲 91千円 ・ヌートリア捕獲奨励金 3頭捕獲 6千円	イノシシの生息域の拡大等により、被害が継続して発生している。 また、ニホンジカの捕獲数が増加しており、個体数増が懸念される。 このことから各集落等で侵入防止柵等の対策を行うとともに、出没するイノシシを捕獲し、個体数の減少を図る。											農林室
			実施	実施	完了	完了	完了	R5年度完了	老朽化した施設の更新を、国直轄事業、県営事業で実施する。 伯耆町は、県営事業の負担金を関係市町とともに負担する。 事業実施期間 R3～R5 負担額の総額 7,078千円								農林室			

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
2 農業生産基盤の整備	6 県営富江地区かんがい排水事業	実施 実施 実施 実施 実施	令和5年度継り越し事業 かんがい排水工事 県営事業 ほ場整備工事 県営事業 精算交付金業務 県営事業	伯耆町負担額 9,188,734円 地元負担額 6,891,550円	県営事業で富江地区かんがい排水事業を実施する。 農業用排水 38.9ha 区画整理 19.3ha 用水路工 1.1km 排水路工 3.2km 道路工 4.4km 町負担割合 10% 地元負担割合 7.5% 事業実施期間 R4～R9 6年間 事業総額 698,000千円 *事業費は物価変動等により変更の可能性あり	農林室											
			令和6年度事業 ほ場整備工事 県営事業 換地設計業務 県委託事業 事業費の一部を次年度繰越	伯耆町負担額 9,631,694円 地元負担額 7,223,770円	伯耆町負担額は、過疎債を充当												
			1 就農条件整備事業	実施 実施 実施 実施 実施	R6は実施した経営体はなし	新規認定就農者の機械施設導入を支援し初期投資の軽減を図る。											
			2 中核的農業経営体の育成	実施 実施 実施 実施 実施	・認定農業者認定 新規認定 4経営体 再認定 13経営体 ・準認定農業者 18経営体 ・認定新規就農者 3人(親元就農研修生含む)	・R7までに50経営体の認定農業者とする。 ・準認定農業者、新規就農者の支援を行い認定農業者を育成していく。											
			3 認定農業者の支援	実施 実施 実施 実施 実施	・認定農業者認定数 新規認定 4経営体 再認定 13経営体 補助事業実施者:14経営体	・地域農業の担い手である認定農業者の機械導入支援や経営継続への支援を行う。 ・R7までに50経営体の認定農業者とする。											
3 多様な担い手の育成・確保	4 認定新規就農者の支援	実施 実施 実施 実施 実施	・認定新規就農者 継続者 1人 新規 2人(親元就農研修生含む) 補助事業実施者:1人 交付金事業実施者:3人	・新たに就農する農業者に対して、国、県の交付金事業を活用して支援する。 ・R7までに5人(継続者、親元就農研修生含む)	農林室												
			伯耆町堆肥センター管理事業 堆肥生産 904t生産 ※イージージェットシステムの修繕のため堆肥生産量が減となった。 事業費 11,971千円	町内の畜産農家から出る牛糞を処理し、これを有効活用して優良な堆肥を生産・販売を行い、耕畜連携の推進により農作物の生産に寄与する。 ・5年間堆肥生産量 5,600t													
ス 4 テ循環の型農業シ	1 堆肥を活用した土づくりの推進	実施 実施 実施 実施 実施	農林室														

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
②農地	4 循環型農業システムの推進	2 放牧事業推進による省力化	実施	実施	実施	実施	実施	大滝放牧場管理事業 年間利用延べ頭数 2,566頭 事業費 1,792千円	繁殖雌牛の放牧により、農家の省力化、コスト低減、足腰の強い牛づくりに寄与する。	認定新規就農者数及び親元就農研修者数(農業経営基盤強化促進法に基づき町が認定した新たに農業を始めた者、親元就農促進支援交付金事業の研修計画を承認された研修生)	12人 (うち親元就農2人)	5人	4人	3人	3人	5人	農林室
		3 景観形成作物栽培促進事業	実施	実施	実施	実施	実施	播種面積 ヒマワリ:1,928a 菜の花:4,051a レンゲ:5,064a 種子購入費:4,658千円 交付金交付額:3,893千円 緑肥作物 レンゲ:2,306a 種子購入費:766千円	水田の地力維持・増進及び観光資源の維持を目的として、「菜の花」や「レンゲ」、「ヒマワリ」の作付けを促し景観形成の促進を図る。								農林室
		1 農地、水などの地域資源の保全	実施	実施	実施	実施	実施	・中山間地域直接支払交付金事業 642ha ・多面的機能支払交付金事業 618ha	中山間地域等直接支払交付金事業については、R2年度に第5期対策がスタートし、多面的機能支払交付金事業と合わせて、引き続き、地域での農地持活動の推進が図られた。							農林室	
		2 住民レベルの交流事業	実施	実施	実施	実施	実施	森と清流の里ふれあい祭 11月3日開催 ・米フェスタ開催(5月、9月) ・森林シンポジウムは実施計画の見直しにより中止	イベントの実施 ・森と清流の里ふれあい祭 ・米フェスタ ・森林シンポジウム							農林室	
	1 農地の荒廃対策	1 耕作放棄地の解消及び発生の防止	実施	実施	実施	実施	実施	解消面積 1.1ha	遊休農地となっている農地の継続調査及び指導を行う。農地利用状況調査を行い、遊休農地を把握する。	耕作放棄地解消及び発生の防止(農用地区域内の耕作放棄地面積)	11.7ha (R1調査)	6.3ha	4.1ha	2.4ha	1.1ha	10.5ha	農林室
		2 中山間地域直接支払交付金事業	実施	実施	実施	実施	実施	中山間地域直接支払交付金事業 協定数54件 集落:52件、個別:2件 交付実績 99,666,181円	R2年度に第5期対策がスタートした。R3年度は集落協定数が1増となり、引き続き地域での農地持活動の推進を図る。								農林室

2 地域産業を育むまち

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(7)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(8)数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
		産3 体自 制給 の飼 強料 化生	1 自給飼料生 産体制整備の 推進	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	稻発酵粗飼料(WCS)作付 36ha	稻発酵粗飼料(WCS)の作付により、 自給飼料の確保を行うことにより、 飼料の確保の支援を行う。	自給飼料 の増産(自 給飼料の 生産面積)	60ha	38ha	32ha	35ha	36ha	65ha	農林 室	
④林業																			
・間伐等の適切な森林整備及び管理を推進します。 ・林業生産基盤の整備に努めます。 ・森林環境贈与税による森林経営管理制度の推進を図ります。	1 森 林 資 源 の 活 用 推 進	1 森 林 資 源 の 活 用 推 進	1 地 域 活 動 を 支 援 す る 付 交 金 事 業	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	森林經營計画策定のための支援を行った。 ・丸山 240千円 ・根雨原 1,000千円	森林經營計画策定のための支援を行なう。 13地区 ・大坂、金屋谷、大倉、根雨原、二部、父原、宮原、須村、大原、久古、清原、真野、番原 ・今後策定予定地区 福兼、畠池、坂長	人工林の 拡大 (荒廃した 林地を整 備した人 工林の面 積)	29,900 m ²	2,300 m ²	9,300 m ²	6,000 m ²	2,300 m ²	30,000 m ²	農林 室	
	2 森 林 保 全 の 意 識 啓 発 事 業	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	鳥の巣箱コンクール 伯耆町長賞 記念品	鳥の巣箱コンクールに協賛し、森林保全啓発を図った。							農林 室		
	整2 備森 林生 產基 盤の	1 林 道 整 備 事 業	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	集落等で行う林道の維持管理等への補助の実施。 申請 1件	単町補助による林道整備を図る。							農林 室		
	2 県 営 治 山 事 業	完 了	完 了	完 了	完 了	完 了	完 了	完 了	R3年度完了	H28年度に大倉地区単県治山施設維持修繕工事が完了し、R4以降実施予定なし。必要に応じて県が実施。							農林 室		
	強3 化森 林 推 保 全 の	1 松 く い 虫 被 害 対 策(農 薬の 空中散 布事 業、伐 倒驅除 事業、樹 種転 換事業)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	特別防除:143ha×2回 13,254千円 緊急防除:30本 1,572千円 特別伐倒:61.91m ³ 1,267千円	松くい虫被害拡大防止のため対策を行う。							農林 室		
	3 森 林 保 全 の 強 化 ・ 推 進	2 ナ ラ 枯 れ 被 害 対 策(伐 倒 驅 除、立 木く ん 蒸の 広域連 携)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	カシナガトラップ設置 463基 4,532千円 伐倒搬出 6本 330千円 ※令和7年度で事業終了	ナラ枯れ被害拡大防止のため対策を行う。		森林管理 について の意向調 査の実施 (森林經營 管理制度 に基づく意 識調査)	1地区	1地区	1地区	2地区	3地区	5地区	農林 室
	3 間 伐・枝 打ち・植 林等の森 林施 業に對 する補 助事 業	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	生きがい林業促進事業補助金 申請 0件	・生きがい林業促進事業により自発的な森林整備の促進を図る。							農林 室		

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
推進森林保全の強化・		4 森林経営管理制度の推進 (意向調査、経営計画策定)	実施	実施	実施	実施	実施	森林整備意向調査委託 3件 4,709千円 森林整備高度化補助金 1件 補助金額:754千円	森林現況の把握を実施し、施業の効率化を図る。 業務の効率化や高度化を図るために機械購入等に補助を行う。							農林室		
		5 竹林整備の支援	実施	実施	実施	実施	実施	竹林整備事業 2件 須村 0.4ha 438千円 上野、上細見 0.13ha 240千円	竹林整備事業により竹林整備の推進を図る。									
【分野別施策】(2)商工観光																		
①観光		1 観光振興体制の充実	1 広域観光の推進	実施	実施	実施	実施	実施	・引き続き大山山麓・日野川流域観光推進協議会と連携し、都市部への誘客活動を実施した。また、二次交通事業により、大山エリア、伯耆町地内への誘客を図った。	引き続き大山山麓・日野川流域観光推進協議会と連携し事業を実施することにより、伯耆町内及び大山エリアへの入り込み増を図る。	宿泊者数 (年間の宿泊者の数)	155,54 8人 (R1実績)	40,266 人	100,01 6人	122,86 1人	92,899 人	160,00 0人	商工観光室
		2 観光協会の組織強化	実施	実施	実施	実施	実施	宿泊業者への受入調査の実施。観光協会会員への情報提供(随時)を行った。また、協会の事業について、理事会を3回開催し検討を行った。第3回目の理事会は町長と観光協会との意見交換を実施し官民連携し情報共有を図った。	宿泊業者への受入調査の実施。観光協会会員への情報提供(随時)。定期的な意見交換会の開催。									商工観光室
		3 インバウンド促進へ向けた体制整備	未実施	実施	実施	実施	実施	引き続き大山山麓・日野川流域観光推進協議会と連携し事業を実施することにより、大山エリアへの入り込み増を図る。	引き続き大山山麓・日野川流域観光推進協議会と連携し事業を実施することにより、大山エリアへの入り込み増を図る。									
		用2 観光施設・観光資源の活用	1 観光PR活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	大山山麓・日野川流域観光推進協議会等と連携し、観光PRを実施した。 ・つながるマルシェなど また、県観光連盟が開催する、サービスエリアでの観光宣伝参加し、PRを行った。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会等と連携し、観光PRを実施する。							商工観光室	
		2 着地型観光の推進	実施	実施	実施	実施	実施	大山山麓・日野川流域観光推進協議会2次交通部会の取り組みとして、観光マイスター資格を持つドライバーが乗務する観光周遊タクシーの運行を実施した。	大山山麓・日野川流域観光推進協議会等と連携し、広域的なツアーメニューの開発及びモニタリングツアーアの実施による定番商品の開発と定着化を図る。	商工観光室								

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					⑥R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑧数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
源 2 の観 活用 施 設 ・ 観 光 資	3 国立公園「大 山」の活用	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	フェスティバル・ディア・マスミズ及び ふれあい祭りで日本遺産のブース を設置し、魅力発信を行った。	観光資源『大山』の利活用について、日本遺産大山魅力発信推進協 議会において、事業の実施と公式 的な魅力発信を行う。	宿泊者数 (外国人) (年間の宿 泊者(外 国人)の数)	8,668 人 (R1実 績)	0人	190人	4,815 人	4,441 人	15,000 人	商工 観光 室
		未 实 施	未 实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	加西サービスエリアで観光宣伝と併 せて実施した。	中国自動車道 蒜山SA、加西SAで のPRを実施する。								
	4 溝口インターチ ェンジと大山高原 インターチェンジの 利用促進	未 实 施	未 实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	両施設とともに、建築後30年近く経 過しており、経年劣化による機械器 具の修繕があるが、指定管理者と 協力することにより、効率的な運営 に努める。	施設の長寿命化に向けた必要な修 繕等を検討していくとともに、施設 機能を十分生かせるよう指定管理 者制度のメリットを活用できるよう な運営に努める。								
	リ 3 アリゾ ナのゾ 再整 備工	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	1 既存観光施 設(大山カーテン プレイス、大山 望)の利活用 の推進	指定管理者において、職場内研修 を実施した。								
	態 4 勢の観 整客 備受 入	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	1 観光従事者 の資質向上に 向けた研修	指定管理者において、職場内研修 を実施した。								
	能 5 の観 充光 実情 報提 供機	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	1 インターネットを 利用したPR活 動の強化	観光ホームページの通年運営と情 報更新を行った。	観光客入 込客数(町 内の観光 地を訪れ た観光客 の数)	613,36 2人 (R1実 績)	504,30 4人	592,68 7人	652,42 3人	675,65 8人	700,00 0人	商工 観光 室
	2 観光パンフレット の作成	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	観光パンフレット「山陰悠遊絵図」 4,000部の購入を実施。	必要に応じ、観光パンフレットの増 刷及び更新を図る。								

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					⑧R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
②商業	・商工会と連携して活力ある商業の振興を行います。 ・起業化、特産品開発等の取り組みに対して支援します。 ・経営改善を行う小規模事業者を支援します。	1 商工団体の支援 1 商工会の活性化による指導体制の強化	実施	実施	実施	実施	実施	●町商工会運営費の助成 ●事業者へ商工会支援制度の紹介	補助金対象経費を明確にすることで、商工振興の充実を図る。 起業・創業等の相談事業者を商工会への紹介。商工会と連携し、事業者への周知や申請補助を行う。	商店数 (町内の卸売業・小売業の数)	70店 (H28 経済センサス)	調査未実施	64店 (R3経済センサス)	64店 (R3経済センサス)	64店 (R3経済センサス)	70店	商工観光室
		2 商工会補助事業	実施	実施	実施	実施	実施	●4,200千円を交付 (補助対象) ・経営改善普及事業 ・運営推進及び情報対策事業 ・商工業者・小規模事業者の経営支援 補助対象経費 7,680千円	補助金対象経費を明確にすることで、商工振興の充実を図る。 (補助対象経費) ・経営改善普及事業 ・青年部活動対策 ・女性部活動対策 ・運営推進及び情報対策関係事業 ・新型コロナウイルス関連支援 ・経営相談特別事業 ・商工業者・小規模事業者の経営支援	商店数 (町内の卸売業・小売業の数)	70店 (H28 経済センサス)	調査未実施	64店 (R3経済センサス)	64店 (R3経済センサス)	64店 (R3経済センサス)	70店	商工観光室
ス 2 の商開業発支 援ビ	1 コミュニティ化ジネス・エコビジネス起業への情報提供	実施	実施	実施	実施	実施	実施	国・県制度の情報提供	国・県制度の情報提供	従業員数 (町内の卸売業・小売業の従業員数)	513人 (H28 経済センサス)	調査未実施	498人 (R3経済センサス)	498人 (R3経済センサス)	498人 (R3経済センサス)	513人	商工観光室
化 3 ・起業 ・特業 ・産 ・品創 ・開業 ・開 ・の競 ・支 ・援 ・強	1 本気で頑張る産業支援事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	●「本気で頑張る産業支援事業」により、町内事業所等が行う特産品開発、販路開拓、競争力強化等への支援を行った。 ・12事業(10団体) 交付決定額 2,879千円 ●「大山山麓リゾート観光田舎ものマッチング事業」により、都市部への販路拡大を支援した。 ・1事業 1,320千円	制度を継続し、町内事業所等による特産品開発・販路開拓・競争力強化に対する支援を行う。	年間商品販売額 (年間の卸売業・小売業の商品販売額)	949,316万円 (H28 経済センサス)	952,800万円 (R3経済センサス)	952,800万円 (R3経済センサス)	952,800万円 (R3経済センサス)	952,800万円 (R3経済センサス)	950,000万円	商工観光室
の 4 ・経 ・小 ・規 ・常 ・模 ・支 ・援 ・事 ・業 ・者	1 関係機関との連携による経営支援	実施	実施	実施	実施	実施	実施	●町商工会及び鳥取県西部産業支援センターとの連絡調整の実施。	町商工会と鳥取県西部産業支援センターとの連絡調整を引き続き図っていく。	新規起業事業者数 (町内で起業した事業者数) (5年間)	7事業者	2事業者	1事業者	3事業者	1事業者	10事業者	商工観光室

2 地域産業を育むまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		當 4 支 小 規 模 事 業 者 の 経 営	2 小規模事業 者等経営改善 支援	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	伯耆町小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 支援件数:11件 補助総額:459千円	小規模事業者の資金繰りの援助を 継続して実施する。	支援相談 件数 (町内事業 者からの 商工会へ の補助金 等の支援 相談件数)	2,000 件/年	1,500 件/年	2,054 件/年	2080件 /年	1,822 件/年	2,200 件/年	商工 観光 室
(3) 工業																		
・既存企業との定期的な情報 交換により、操業の継続支援 をします。 ・広域における企業の産業間 連携を推進します。 ・県との連携及び誘致支援制 度により、新規企業の誘致を 推進します。	の 1 連既存 強企 化業 と	1 企業訪問に による地元企業 との連携強化	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	電話にて企業の活動状況のヒアリ ングや情報交換を行った。	新型コロナウイルス感染症の感染 状況により、企業訪問等を実施検 討。 企業の活動状況のヒアリングや情 報交換を行う。	新規誘致 企業数 (計画期間 中(5年間) での誘致 企業数)	1件	0件	0件	0件	0件	1件	経営 企画 室	
	開 争 2 發 力 起 の 強業 支 化・ 援・創 特業 產・ 品競	1 本気で頑張 る産業支援事 業	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	●「本気で頑張る産業支援事業補 助金」により、町内事業所等が行う 特産品開発・販路開拓・競争力強 化等への支援を行っている。 事業数 12事業(11団体) 交付決定額 2,879千円	制度を継続し、町内事業所等による 特産品開発・販路開拓・競争力強 化に対する支援を行う。								商工 観光 室	
	の 3 促企 進業 誘致 活動	1 サテライトオ フィス、テレ ワーク開設、支 援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	溝口分庁舎6階サテライトオフィスに 入居を検討されている事業者へ、 事業実施に係る手続きのほか、地 域企業等との連携支援等、誘致に 繋がるよう情報提供を実施した。	溝口分庁舎6階サテライトオフィス への入居希望者へ、事業開設支援 等を行う。	新規誘致 企業数 (計画期間 中(5年間) での誘致 企業数)	1件	0件	0件	0件	0件	1件	経営 企画 室	
	向 4 け企 た企 業立 業支 援地 に	1 企業等立地 奨励金、雇用 促進奨励金に による支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	新たな企業立地や事業拡大は町内 では該当がなかったが、町外企業 が町内の方を雇用した場合、西部 地域企業立地補助要綱に従い、補 助を行った。 ・R6 1件	町内での企業立地や事業拡大に対 して、固定資産税や土地購入費の 支援、雇用奨励金など独自の優遇 制度にて誘致企業の支援を行う。							経営 企画 室		
経 5 営小 規 模事 業者 の	1 関係機関と の連携による 経営支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	●町商工会及び鳥取県西部産業支 援センターとの連絡調整の実施。	町商工会と鳥取県西部産業支援セ ンターとの連絡調整を引き続き図つ ていく。	町内事業 所の従業 者数 (町内の方 の事業所の従 業者数)	2,801 人 (H28 経済セ ンサス)	2,801 人	2,800 人	2,800 人	2,800 人	2,800 人	商工 観光 室	
	2 小規模事業 者等経営改善 支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	伯耆町小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 支援件数:11件 補助総額:459千円	小規模事業者の資金繰りの援助を 継続して実施する。							商工 観光 室		

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【重点施策】																				
1 社会の一員として自立し生きていく児童生徒の育成																				
		1 確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の実現	実施	実施	実施	実施	実施	「標準学力調査」「i-check」を春と冬に実施し、学力向上と学級づくりについて経年比較を行い、傾向と分析、対策を各学校と共有した。継続的な教育活動によって、的確な指導体制の確立を目指している。全学年全教科において全国値より高い値を示したものは、31教科中21教科であった。小6と中2において課題が見られた。	全ての中学校の全学年・全学年において、全国平均以上の成果を掲げている。(全国を100とした場合の、伯耆町100以上)									総務 学事 室		
		2 保育所・小学校・中学校一貫教育の推進	実施	実施	実施	実施	実施	町教振総会時に教職員研修会を開催し、年度の早い時期に保小中一貫教育の視点や本町教育の重点を研修した上で、小中一貫授業力向上研修会や小中合同授業研究会、各校授業研究会を開催し小中一貫した教職員の授業力向上を図った。	小中一貫授業力向上研修会を年1回、小中合同授業研究会を各中学校区で年1回実施する。各学校実施の授業研究会に町内各校から参観するなど、小中一貫した教職員の授業力向上を図る。								総務 学事 室			
		3 人にやさしい学校教育環境の整備	実施	実施	実施	実施	実施	小学校13名・中学校2名の学習支援員及び早期支援コーディネーターの配置等により、支援の必要な児童生徒の学習環境の充実に努めた。	早期支援コーディネーターを配置し、就学前からの児童理解、支援を進めるとともに、小中学校に学習支援員を配置し、個に応じた支援の充実を図る。							総務 学事 室				
2 まちぐるみで取り組む教育の推進																				
		1 町全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進	実施	実施	実施	実施	実施	CSディレクター1名を配置し、各学校・保育所の代表者等によるネットワーク会議を設置。町全体での拡大ネットワーク会議を行い、「地域とともににある学校づくり」「地域学習の充実」の推進に向けた研修や取組を実施した。取組地域コーディネーター定例会を6回実施。	全学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして設置した。町全体、中学校区でのネットワーク会議を行い、重点取組事項「あいさつ運動」を展開し、全校区にあいさつを浸透させる。								総務 学事 室			
		2 ふるさとを支える青少年の育成	実施	実施	実施	実施	実施	町民あいさつ運動・家庭の日川柳募集、及び青少年を地域で見守る活動を実施し、青少年育成伯耆町民大会を開催した。また、通学合宿の実施やリーダー合宿inだいせんにも参加することができた。	①地域安全パトロール(青少年育成街頭指導等)学校安全パトロールボランティア、スクールガードリーダー支援 ②あいさつ運動の推奨 ③少年を守る店啓発 ④家庭の日の推進(標語募集) ⑤通学合宿実施 ⑥リーダー合宿inだいせん参加 ⑦沖縄県読谷村教育交流事業								生涯 学習 室			

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
3 学び輝き続けるための環境づくり		1 生涯学習の推進	実施	実施	実施	実施	実施	公民館・図書館・文化センターなどの地域活動拠点施設の継続支援を行い、生涯学習の場を確保した。 公民館での高齢者教室等の講座等開催回数:60回	公民館・図書館・文化センターなどの地域活動拠点施設の継続支援を行う。								生涯 学習 室		
		2 人権尊重のまちづくりの推進	実施	実施	実施	実施	実施	審議会では、伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の改正を答申し議会で可決された。	第3次伯耆町人権施策推進計画の事業実施状況を毎年調査し、計画の進捗を実施する。								人権 政策 室		
		3 地域芸術文化の振興	実施	実施	実施	実施	実施	写真美術館、鬼の館、文化財の有効活用を行い、町の地域文化活動の推進を図った。 また、文化振興会事業の美術展、町民音楽祭を開催した。	・文化講演会、町民音楽祭、美術展、JAZZエスティバル等の文化振興会事業の実施 ・団体支援(鬼面太鼓、風神太鼓) ・写真美術館、埋蔵文化財等を活用した文化活動支援								生涯 学習 室		
4 スポーツや運動を通じての心と体の健康づくり		1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	ほうきスマリースポーツクラブ等スポーツ団体の活動を支援し、健康づくり・体力づくり等を目的としたスポーツ教室やイベントを開催した。	幼児から高齢者まで、住民ニーズに沿ったスポーツ教室等を開催するなど、スポーツ活動を推進する。								スキー 公園		
		2 いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	実施	実施	実施	実施	実施	施設の経年劣化に対応した修繕や改修を行った。	体育館・武道館の照明設備LED化、B&Gプール施設の改修などを行い、快適、安全及び環境に配慮したスポーツ施設整備を実施する。								スキー 公園		
		3 スポーツ交流の充実・支援	未実施	未実施	実施	実施	実施	町主催のスポーツ大会として5大会を開催した。9月開催予定の野球大会は雨天中止した。新規事業として10月にリレーマラソン大会を開催した	町民を対象としたスポーツ大会等を開催し、住民相互の交流や健康づくりに寄与する。								スキー 公園		
5 安心して子どもを生み育てられる環境の整備		1 幼児教育・保育基盤の整備	実施	実施	実施	実施	実施	・保育所 5か所、定員420人(内訳) あさひ保育所 45人 ふたば保育所 105人 こしき保育所 140人 溝口保育所 100人 二部保育所 30人(R5.4から休園) ・小規模保育所 1か所・定員19人 ・町外施設利用者への副食費補助 20人・484,600円	保育サービスの提供を継続して実施する。 また必要に応じて施設修繕を行い、維持管理に努める。										福祉 支援 室

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		2 地域での子育て支援拠点・交流の場の整備	実施	実施	実施	実施	実施	子育てに関する情報提供、手作りおもちゃの講習や遊びの紹介、親子参加型の活動、保護者のストレス軽減を目的とした支援活動、季節に合わせた交流行事、子育てに関する個別相談を実施した。 『令和6年度利用実績』 延べ人数：子供 1,776人、大人 1,764人 世帯数：111世帯	子育て支援・交流の場の提供を図るため、子育て支援センターの運営を継続して実施する。 また、新たな子どもの遊びの場の整備について検討する。								福祉支援室	
		3 子育てに伴う経済的負担の軽減	実施	実施	実施	実施	実施	・出産・子育て応援交付金支給 86人 6,700,000円 ・乳児家庭保育支援手当支給(乳児を家庭で保育する世帯へ支給) 62人 11,298,038円 ・保育料軽減・減免(多子世帯、ひとり親世帯・障がい者世帯等) ・町外(私立幼稚園)保育料軽減事業 3人・312,900円 ・自然保育認証園事業費補助金 対象児童2名 346,000円	経済的負担の軽減のため、各種事業を継続して実施する。								福祉支援室	
		4 子育て世代包括支援センター事業の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①離乳食教室 4回 参加者数 33組 ②幼児食教室 1回 参加者数 12組 ③にこにこ親子教室 8回 参加者数 延25組 ④赤ちゃん相談日 12回 参加者数 33人 ⑤妊娠歯科健診 20人 ⑥助産師訪問ケア 6件 ⑦産後ケア 母子ショートステイ 利用実人数6組 (延べ利用日数22日) 母子デイケア 利用実人数24組 (延べ利用日数58日)	H29年から子育て世代包括支援センターを健康対策課内に設置。妊娠期から子育て期の全ての子育てに関する総合窓口とし、切れ目のないサポート体制を整備する。								健康増進室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【分野別施策】(1)教育・人権・文化																				
①学校教育																				
心1 と確 健か な学 体力と 育規 範教意 識の充 向上上 、豊 かな	【取組の方向性】 ・知・徳・体のバランスのとれた 教育の推進を図ります。 ・保育所・小学校・中学校の滑 らかな接続に取り組みます。 ・人にやさしい学校教育環境 の整備を推進します。	1 体験学習の充実	実施	実施	実施	実施	実施	岸本・溝口小学校で週3回の子ども教室を実施することができた。 実施回数:岸本小学校93回 溝口小学校79回	児童クラブとの一体型での実施を進める。運動、学習、体験活動とさまざまなプログラムを計画し、体験活動の充実を図る。	全国学力・学習状況調査における平均正答率(小学校6年生及び中学校3年生の全国学力・学習状況調査での国語・数学(算数)の平均正答率)	小・国語+6 小・算数+3 中・国語0 中・数学-2	小・国語+3.3 小・算数+0.8 中・国語+3.4 中・数学+1.8	小・国語+1.4 小・算数-1.8 中・国語+7 中・数学+3.6	小・国語+3 小・算数+3 中・国語+5 中・数学+2	小・国語±0 小・算数-1 中・国語+4 中・数学+6	全国平均を上回る	総務学事 室			
		2 小中一貫学力・人間力定着事業	実施	実施	実施	実施	実施	小中一貫学力向上推進担当者会、小中一貫授業力向上研修会を各年1回、小中合同授業研究会を各中学校区で年1回実施する。各学校実施の授業研究会に町内各校から参観するなど、小中一貫した教職員の授業力向上を図った。												
		3 小中学校へのALT配置	実施	実施	実施	実施	実施	小学校に1名、各中学校に外国語指導助手を1名ずつ配置した。また、児童生徒の英語検定受験料に対する補助制度について回数を、小中各1回から年度1回に拡充し、外国語教育の推進を図った。												
	た2 め教 の職 研修の 指 充導 実力 向 上の の 指 充導 実力 向 上 の	1 校内研修への外部指導者招聘による研修の充実	実施	実施	実施	実施	実施	各校ごとに外部講師の招聘を伴う授業研究会を年3回程度実施した。各校の課題に応じた研究課題を設定し、学力向上に通じる授業の質的向上を図った。	各校ごとに外部講師の招聘を伴う授業研究会を年3回以上実施し、学力向上に通じる授業の質的向上を図る。	学校教育への児童生徒の満足度(学校教育に対し児童生徒が満足している割合)	小学校88.3% (+2.5) 中学校84.1% (+2.5) ※()内 数値は 全国比	小学校83.0% 中学校80.0%	小学校85.7% 中学校84.9%	小学校85.4% 中学校86.4%	小学校72.6% 中学校77.1%	小学校90.0% 中学校88.0%	総務学事 室			
		2 町教委主催各種研修の充実	実施	実施	実施	実施	実施	学校教育の諸課題に対応できるよう、教職員の資質向上をねらいとした本町独自の研修や担当者会を年13回実施した。												
一3 保 育 所 の・ 推 小 進 学 校 ・ 中 学 校	1「保小中一貫教育カリキュラム」の改訂	実施	実施	実施	実施	実施	実施	新教育課程と教科書改訂に対応した年間計画の完成を年度内に行つた。	新教育課程に対応した年間計画の完成を年度内に目指す。	児童生徒の自己肯定感(自分には良い所があると思う児童生徒の割合)	小学校87.2% (+5.7) 中学校76.1% (+2) ※()内 数値は 全国比	小学校91.0% 中学校80.0%	小学校87.3% 中学校76.7%	小学校89.0% 中学校82.7%	小学校89.1% 中学校78.3%	小学校90.0% 中学校80.0%	総務学事 室			
	2 ふるさとキャリア教育の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	ふるさとキャリア教育の各学校の年計を確認し、地域貢献活動の推進の柱としてふるさとキャリア教育(伯耆I学習)を位置づけ、ほうき「ひと・まち・未来づくり」アクションフォーラム(荒天中止)によりPDCAサイクル化し、地域資源を生かした各校の活動内容を共有した。	町としてのふるさとキャリア教育共通年計の作成を行う。											

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
校 4 の保 育所 か・ な小 接学 続校 ・中 学	校 4 の保 育所 か・ な小 接学 続校 ・中 学	1 早期支援 コーディネー ターの配置	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	早期支援コーディネーター1名の配 置により、支援の必要な児童生徒 の個に応じた支援の充実に努め た。	早期支援コーディネーターを配置 し、就学前からの児童理解、支援を 進め、個に応じた支援の充実を図 る。								総務 学事 室
		2 保小中の教 職員による合 同研修・情報 交換の推進	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	就学支援検討連絡会を開催。各保 育所、小・中学校で就学関係機関 が児童の観察会と情報交換会を実 施。保小については、健康対策課に も参加を依頼し、情報交換をした。	5月に就学支援検討連絡会を実施。 各保育所、小学校での観察会と情 報交換会を6月から9月の間に実施 する。								総務 学事 室
	5 人 にや さ しい 学 校 教 育 環 境 の 整 備	1 少人数学級 実施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	小学校で2学級増、教員2名増(八 郷小1学級増・教員1名増、二部小1 学級増・教員1名増)、中学校で4学 級増、教員6名増(岸本中3学級増・ 教員5名増、溝口中1学級増・1名 増)とし、少人数学級を実施した。学 習指導と生徒指導の両面での効果 があり、進路指導の充実を図ること ができた。	町独自の基準による、小規模校で の複式学級解消及び少人数学級を 実施し、きめ細やかな学習指導と生 徒指導を行うとともに、進路指導の 充実を図る。								総務 学事 室
		2 スクールソ ーシャルワー カー、スクール カウンセラー、 早期支援コーデ ィネーターの 配置	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	SSWを2人配置とした。要保護家庭 の環境改善等についてのケース会 議を実施することができた。 教育支援センターを設置し、指導員 1名、相談員2名で不登校児童・生 徒、保護者への対応、在籍学校と の連携を行うことができた。 また、早期支援コーディネーター1名 の配置により、支援の必要な児童 生徒の個に応じた支援の充実に努 めた。	SSWが学校のケース会議に参加 し、専門的見地から助言すること や、教育支援センター職員との定期 会をおこなうことで、よりスムーズに 生徒指導上の課題解決を進める。 また、早期支援コーディネーターを 配置し、修学前からの児童理解、支 援を進め、個に応じた支援の充実を 図る。								総務 学事 室
	育 5 環 人 境 に の や 整 さ い 学 校 教	3 学習支援 員、部活動指 導員等の配置	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	小学校13名・中学校2名の学習支援 員、介助員の配置等により、支援の 必要な児童生徒の学習環境の充実 に努めた。 また、部活動指導員を配置し、中學 校における部活動に係る教員の負 担軽減や部活動の質的向上を図つ た。	小中学校に学習支援員等を配置 し、個に応じた支援の充実を図る。 また、部活動指導員を配置し、中學 校における部活動に係る教員の負 担軽減や部活動の質的向上を図る。								総務 学事 室

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
6 育 環 全 の 心 整 備 質 の 高 い 教 育 を 支 え る	1 ICTに関する 教職員の研修 や支援の充実	1 ICTに関する 教職員の研修 や支援の充実	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	学校ICT支援員を1名配置し、必要に応じて各学校に訪問する体制をとっている。また、鳥取県教育センターから配信されるオンライン研修の案内をはじめとした教職員のICTスキル向上のための支援を行っている。	学校ICT支援員について、現状の配置を維持し、学校における教職員の支援を行っていく。 ・国基準:1人/4校 ・伯耆町:1人/3校								総務 学事 室		
		2 体育館照明 LED化検討	完 了	完 了	完 了	完 了	完 了	R3年度完了	全小中学校体育館照明をLED化し、CO2削減による温暖化対策及び省エネルギーによる経費削減を図るとともに、教育環境の整備を図った。	総務 学事 室									
		3 給食会計の 公会計化検討	实 施	实 施	检 讨	检 讨	检 讨	学校給食費無償化に係る国の方針が決定するまで様子を見ることとしている。	学校給食費無償化に係る国の方針が決定するまで様子を見る。	給食セ ンター									
	7 家 庭 教 育 の 充 実	1 放課後子供 教室の充実	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	学習やスポーツ、季節の行事を楽しむ文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行った。 対象:小学校全学年 実施校:岸本小学校(93回)、溝口小学校(79回) 開催日:週3回 学校課業日に準ずる 参加者:岸本小学校22名、児童クラブより24名(半数ずつ隔週で参加) 溝口小学校12名+児童クラブより17名	放課後子供教室を継続実施し、学習やスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行う。また、児童クラブとも継続して連携する。								生涯 学習 室		
		2 学校や関係 課等と連携し た子育て教室 等の開催	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	小中学校入学説明会の機会に合わせ、子育てに関する講演会を開催した。保小の参観日における家庭教育に関する講演会の支援をした。子育て支援センター、保育所主催の講演会を実施した。1歳6ヶ月検診の待ち時間を活用した事業「読み聞かせのすすめ」や「でかける図書館」など関係課が連携した取組も実施できた。	各学校1度は講演会を実施。コロナ禍で開催できない場合は講演会DVD作成など代替案を実施。								総務 学事 室		

3 健やかで心豊かな人を育つまち

3-7

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
	8 まち全体で 子どもを育む 地域と共に 創る学校 の推進	1 学校運営協 議会・地域学 校協働本部と 学校との協働 推進	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	各学校の運営協議会に各学校の地 域学校協働活動コーディネーターが 委員として参加するとともに、統括 コーディネーターも参加し、学校と地 域協働活動の推進について協議した。 伯耆!学習を中心に小中学校か ら地域に発信する活動についても 学校運営協議会で協議を行った。 (支援実績 437件) 学習支援 365件(前年226件) 環境整備 33件(前年45件) 学校行事 24件(前年24件) その他 15件(前年10件) (地域貢献活動) 学びの発信 9件 地域行事参加3件 地域行事参画1件	繼續して各学校に地域学校協働活 動コーディネーターを配置し、学校と 地域との協働活動を推進する。 また、学校から地域へ向けた活動 「地域貢献活動」が充実するよう「伯 耆!学習」を中心とした地域学習の 充実に向けた取組を推進する。	地域の行 事に参加 している児 童生徒の 割合(児童 生徒が所 属する集 落・地区・ 地域など を単位と して行いベ ント・行 事などに参 加した割 合)	小学校 79.0% (+11) 中学校 69.3% (+18.7) ※()内 数値は 全国比	小学校 79.0% (+20.9) 中学校 56.7% (+13) ※()内 数値は 全国比	小学校 80.9% (+28.2) 中学校 46.5% (+6.5) ※()内 数値は 全国比	小学校 85.3% (+25.5) 中学校 56.8% (+18.8) ※()内 数値は 全国比	R6調査 から項 目削除	-	生涯 学習 室	
		2 伯耆町教育 ネットワーク会 議の取組拡充	未 実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	めざす子どもの姿と現現のための 学校・保育所・家庭、地域での取組 の具体を示した『ほうき「人・まち・未 来づくり」アクションプラン』につい て、各学校の評価と関連付けたり、 地域への周知啓発をしたりして、子 ども、家庭、地域、保育所学校が協 働してめざす子どもの姿に向かう取 組をした。	伯耆町教育ネットワーク会議を繼續 して実施する。	伯耆町教育ネットワーク会議を繼續 して実施する。	352人 (※R1 実績)	0人	0人	80人	106人	390人		
	②青少年育成		1 「共 育」 「見 守り」 環 境の整 備	1 青少年育成 伯耆町民会議 等関係団体の 活動支援	实 施	实 施	实 施	实 施	町民あいさつ運動・家庭の日川柳 募集、及び青少年を地域で見守る 活動を実施し、青少年育成伯耆町 民大会を開催した。青少年育成伯 耆町民大会ではやりすぎない子育 てのススメをテーマに講演会を実施 し、106名の参加があった。	継続して活動支援を行う ①地域安全パトロール(青少年育成 街頭指導等)学校安全パトロール ボランティア、スクールガーデリー ダ支援 ②あいさつ運動の推奨 ③少年を守る店啓発 ④家庭の日の推進(標語募集) ⑤通学合宿 ⑥リーダー合宿inだいせん ⑦沖縄県読谷村教育交流事業	公民館に おける家 庭教育講 演会への 参加者数 (社会教育 で実施す る家庭教 育講演会 への参加 者数)	352人 (※R1 実績)	0人	0人	80人	106人	390人	生涯 学習 室
	2 青少年による ボランティア 活動の推進	未 实 施	未 实 施	检 讨	实 施	实 施	町内2駅を利用する高校生、卒業す る中学3年生を対象に加入促進チラ シを配布。実際に地域の祭りに参加 し、ボランティアとして参加する高 校生や来場者にPRし、加入を促した。 R6年度加入者:1名	高校生サークルメンバーを募集し、 活動を再開する。 また、通学合宿、祭り、各種交流事 業へのボランティア活動を継続して 行う。	公民館に おける家 庭教育講 演会への 参加者数 (社会教育 で実施す る家庭教 育講演会 への参加 者数)	352人 (※R1 実績)	0人	0人	80人	106人	390人			

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
③生涯学習	2ふるさとを支える青少年の育成	1ふるさとキャリア教育の推進	実施	実施	実施	実施	実施	令和2年度より伯耆町版キャリアパスポートを作成し、学校間の引継ぎが軌道に乗っている。地域貢献活動の推進とタイアップしながら、ほうき「ひと・まち・未来づくり」アクションフォーラム(荒天中止)によりPDCAサイクル化し、地域資源を生かした各校の活動内容を共有した。	各学校とも学期に1回は家庭に持ち帰らせたり、懇談で保護者に提示したりすることで、保護者との共通理解を図る。	公民館が行う児童・生徒を対象にした体験教室の参加者数(地域の自然や文化などを体験する公民館等主催の体験活動事業への参加者数)	1,248人(※R1実績)	258人	307人	811人	837人	1,310人	総務学事 室
		2教育交流事業の推進	実施	実施	実施	実施	実施	・土曜事業(土曜日のお楽しみ) 16回実施 参加者279名 ・夏休みのお楽しみ 43事業実施 参加者642名	・土曜事業継続実施 ・夏休み、冬休みの子ども体験事業継続実施								
		3通学合宿の充実	未実施	未実施	実施	実施	実施	3泊4日で通学合宿を実施した。 参加者15名。 子ども達だけで過ごす過程で感謝する心や自信を身に着けた児童が多くかった。また事前にスタッフ説明会を開催することで、ねらいなど共通理解が図れ、スムーズに事業を運営することができた。	通学合宿を継続して実施する。								
③生涯学習		1生涯学習の推進	1住民参画・協働による生涯学習事業の検討	実施	実施	実施	実施	【二部公民館】9回→10回 土曜日・平日の夜に、子ども・保護者・地域の住民が参加できる事業を開催した。 【溝口公民館】10回→13回 参加者延べ197人 土・日曜日に子ども・大人を対象にした事業を開催し地域住民への学習機会の提供を図った。 【日光公民館】3回→2回 参加者延べ22人 土・日曜日に子ども・大人を対象にした事業を開催し地域住民への学習機会の提供を図った。 【岸本公民館】6回→3回 土・日曜日に子どもや大人を対象にした事業を開催し地域住民への学習機会の提供を図った。	様々な世代への学習機会の提供を図る講座等の土日、平日夜の開催回数を、現状の24回から25回に増やす。	土日、平日夜の講座等の開催回数(様々な世代への学習機会の提供を図る講座等の開催回数)	24回(※R1実績)	10回	21回	27回	27回	25回	公民館

3 健やかで心豊かな人を育つまち

3-9

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
④人権	[取組の方向性] ・人権に関する個別計画に基づく事業の着実な推進に取り組みます。 ・人権尊重のまちづくりの推進を図るため、関係部署・機関・団体との連携を強化及び取組の充実を図ります。 ・男女共同参画推進計画を推進します。	1 生涯学習の推進	2 溝口公民館改修	完了	完了	完了	完了	完了	R3年度完了	R3年度実施済み。公民館施設を改修し、生涯学習事業、福祉事業、地域活性化事業等に利用するための環境を整備した。							公民館		
			3 公民館を核とした住民活動支援と関係課との連携拡充	実施	実施	実施	実施	実施	各学校に地域コーディネーターを配置し、学校と地域との連携を図った。 (支援実績 437件) 学習支援 365件(前年226件) 環境整備 33件(前年45件) 学校行事 24件(前年24件) その他 15件(前年10件)件(前年10件)	保護者、地域住民及び関係諸団体などが学校と連携及び協働し、地域全体で未来を担う児童・生徒の健やかな成長を育むことにより、地域づくりに貢献する。	学校支援地域本部事業ボランティア延べ人數(各小中学校でのボランティア活動実績)	1,614人(※R1実績)	1,026人	1,227人	1,077人	1,410人	1,620人		公民館
			1 図書館の利用促進と読書活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	利用者さんのリクエストに対応しながら、図書の購入を行い、郷土資料の収集に努め、蔵書の充実を図る。町ホームページや図書通信を活用して情報発信しながら貸出冊数の増加に努める。	図書貸出冊数(溝口図書館、岸本図書館での貸出冊数)	108.95冊(※R1実績)	103.82冊	100.85冊	99,462冊	95,013冊	115,000冊	図書館		
		2 読書活動の推進	2 あたまイキイキ音読教室等事業の充実	実施	実施	実施	実施	実施	高齢者の生涯学習の一環として、溝口地区、岸本地区、男性を対象とした音読教室(原則各月1回)を開催した。また、出前図書館を随時、布絵本ちくちく教室を月2回実施した。	図書館の利用促進及び読書活動の推進のため、あたまイキイキ音読教室等事業を継続的に実施する。							図書館		
			推2 あたまイキイキ音読教室等事業の充実	実施	実施	実施	実施	実施									図書館		
		推1 人権尊重のまちづくりの 1 人権教育啓発の推進	1 人権教育啓発の推進	実施	実施	実施	実施	実施	放送講座も取り入れた人権啓発講座ひまわりセミナーの実施、各種研修会への参加や各種人権週間などの啓発を行った。	・人権啓発講座ひまわりセミナー年間11回開催する。(R5年度は11回) ・全国規模の研修への派遣。							人権政策室		
			2 文化センター活動の充実	実施	実施	実施	実施	実施	・各種相談事業、地区学習会、各教室・講座、現地学習の受け入れ、啓発活動、100円ランチ、ミニデイサービス事業等継続して実施した。 ・だんだんまつりの実施 (R7.2.15～2.16)来館者320名	各種相談事業、学習会等の主催事業の充実を図る。	町人権・同和問題実践研究交流会への参加者数	234人(※R1実績)	122人	137人	153人	171人	250人		人権政策室

3-9

伯耆町総合計画(R3～7)

3 健やかで心豊かな人を育つまち

3-10

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況							室 室						
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7							
くり人の権推進のまちづくり	3 関係団体の活動支援及び連携強化による事業の充実	実施	実施	実施	実施	実施	実施	・人権啓発標語の募集 ・人権カレンダー、人権だよりの作成(全戸配布、町内企業へも配布) 明るいまちづくり懇談会を実施した。 行政職員の悉皆研修、資料を持参して事業所を訪問し啓発を行った。 今年度は人権条例改正による人権だより増刊号の発行も行った。	・明るいまちづくり懇談会の充実 ・各部会研修の充実 ・資料等を通じた教育機関、町民、及び企業等への啓発の充実を図る。	明るいまちづくり懇談会及びひまわりセミナーへの参加者数 (人権に関する年間10回の学習会及び自治会毎に開催する人権に関する懇談会への参加者数)	937人 (※R1 実績)	65人	216人	330人	357人	明るいまちづくり懇談会はコロナ禍で中止	明るいまちづくり懇談会は規模を縮小し5集落で実施	1,000人	人権政策室				
	2 男女共同参画の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	(総務課)男女共同参画推進計画に基づき、意識啓発に関する広報を実施(広報ほうき、CATV、防災無線) (人権政策室)性にかかわりなく誰もが共同参画できる社会をテーマにひまわりセミナーを視聴覚教材を作成し企業研修の資料等として活用している。	(総務課)男女共同参画推進計画に基づき、意識啓発に関する広報を実施(広報ほうき、CATV、防災無線)する。 (人権政策室)ひまわりセミナーのテーマとして取り上げ、引き続き男女共同参画を推進する。	明るいまちづくり懇談会はコロナ禍で中止	明るいまちづくり懇談会はコロナ禍で中止	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施	明るいまちづくり懇談会は希望集落を聞いて実施
⑤芸術文化																							
【取組の方向性】 ・文化財や町の歴史・文化を通じ、地域の振興に取り組みます。 ・地域の芸術・文化の振興と豊かな人間性の創造に努めます。	存1と文化財の保用財の保	1 文化財に関する保存・展示・教室の開催	実施	実施	実施	実施	実施	・古文書を読む会 ・企画展示「近代伯耆のタイムカプセル」令和6年12月14日～21日 主催:島根大学 共催:伯耆町教育委員会 会場:矢田貝家住宅	地元住民の協力のもと、矢田貝家文書の整理・調査活動を実施し、その成果を報告した。	植田正治写真美術館の住民観覧者及び美術館事業への住民参加者数(美術館観覧者のうち住民観覧者及びフォト	677人 (※R1 実績)	432人	668人	633人	517人	750人	生涯学習室						
		1 鬼の館の長寿命化改修	完了	完了	完了	完了	完了	R3年度完了	R3完了。文化交流の拠点施設として、文化に直接触れる機会を提供し、町内サークル等の発表の場としての利用及び施設の管理を行う。								生涯学習室						
		2 伝統行事や地域文化、芸術活動の充実・支援	実施	実施	実施	実施	実施	鬼面太鼓振興会、岸本風神太鼓振興会へ補助金を交付し、地域文化の振興を図った。	継続的に鬼面太鼓振興会、岸本風神太鼓振興会が活動できるように支援を行う。								生涯学習室						
2 地域芸術文化の振興	3 写真美術館のエレベーター改修	検討	完了	完了	完了	完了	完了	R4年度完了	R4年度に工事を完成させる。								美術館						

3-10

伯耆町総合計画(R3~7)

3 健やかで心豊かな人を育つまち

3-11

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					④R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑤数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【分野別施策】(2)結婚・出産・子育て																				
①結婚支援																				
【取組の方向性】 ・鳥取県や広域連携事業で行 う婚活サポート事業などの広 域的な取り組みによる出会い の場を提供します。	出1 会広 い域 的場 なの取 り組 みに よる	1 鳥取県等が 行う結婚支援 事業への参加 促進と情報提 供	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	とつとり出会い系センター「え んトリー」への登録費の援助を行う。 ・令和6年度 町内在住者実績 制度利用者6名 登録者数 8名(令和6年度末) 登録者成婚数 1名 (R2～R6累積3名)	とつとり出会い系センター「え んトリー」への登録費の援助を行う。									経営 企画 室		
		2 中海・宍道 湖・大山圏域 が連携した婚 活サポート事 業への参加	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	中海・宍道湖・大山圏域が行う婚活 イベント案内をHP等で行った。	中海・宍道湖・大山圏域が行う婚活 事業に参加し連携して出会いの場 の提供を行う。							経営 企画 室				
②子ども・子育て支援																				
【取組の方向性】 ・保育の質の向上を図り、適切 な保育サービスを実施します。 ・障がい児の地域での暮らしを 支援します。 ・放課後児童クラブの適切な 運営を実施します。 ・ひとり親家庭への支援を推進 します。 ・児童虐待防止対策の充実と 保護を必要とする子どもへの きめ細やかな取り組みを推進 します。 ・子育て家庭の負担を軽減す る取組の充実を図ります。 ・妊娠・出産・育児のための切 れ目ない母子保健対策を推進 します。	1 幼 児 教 育 ・ 保 育 サ ー ビ ス の 充 実	1 幼児教育と 保育基盤の改 善、充実	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	業務支援システムを活用し、保育の 周辺業務の更なる効率化と、保育 の品質向上を図った。 また必要に応じて施設修繕を行い、 維持管理に努めた。	継続して業務支援システムを活用 し、保育の周辺業務の更なる効率 化と、保育の品質向上を図る。 また必要に応じて施設修繕を行い、 維持管理に努める。	保育所入 所待機児 童数 (保育所に 入所でき ない状態 にある児 童数)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	福祉 支援 室			
		2 多様な保育 サービスの実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・延長保育事業 4か所 ・乳児保育事業 3か所 ・一時保育事業 2か所 ・休日保育事業 1か所 ・病児保育事業 4か所 ・児童ショートステイ事業	保護者ニーズに対応した保育サー ビスを継続して実施する。								福祉 支援 室			
		3 障がいのあ る子どもとそ の家庭への支 援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・障がい児に対する、放課後等ディ サービス等の障害児通所支援サー ビス費の支給を行った。 総額 40,970,216円 ・障害児福祉手当 374,680円 ・障害児保育(加配保育士の配置) 加配保育士17人、対象児童27人	障がい児に対するサービスを継続し て実施する。								福祉 支援 室			
		4 放課後児童 クラブの実施	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・児童クラブ設置状況 ・岸本放課後児童クラブ 定員80人 ・八郷放課後児童クラブ 定員25人 ・溝口放課後児童クラブ 定員40人 ・二部放課後児童クラブ 定員15人 ※補助による民間運営	放課後児童クラブの適切な運営を 継続して実施する。							福祉 支援 室				

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
2 子育て支援の充実	1 地域での子育て支援拠点の充実		実施	実施	実施	実施	実施	子育てに関する情報提供、手作りおもちゃの講習や遊びの紹介、親子参加型の活動、保護者のストレス軽減を目的とした支援活動、季節に合わせた交流行事、子育てに関する個別相談の実施した。 「令和6年度利用実績」 延べ人数：子供 1,776人、大人 1,764人 世帯数：111世帯	地域での子育て支援を図るため、子育て支援センターの運営を継続して実施する。										福祉支援室
			実施	実施	実施	実施	実施	【赤ちゃん相談事業】 12回／年で実施。 延べ利用者33名。 うち、助産師への相談24件。	H29年から子育て世代包括支援センターを健康対策課内に設置。妊娠期から子育て期の全ての子育てに関する総合窓口とし、切れ目のないサポート体制を整備する。								健康増進室		
	3 子育て家庭への支援の充実	1 子育てに関する総合的な相談窓口の設置	実施	実施	実施	実施	実施	【赤ちゃんと親の相談事業】 12回／年で実施。 延べ利用者33名。 うち、助産師への相談24件。	H29年から子育て世代包括支援センターを健康対策課内に設置。妊娠期から子育て期の全ての子育てに関する総合窓口とし、切れ目のないサポート体制を整備する。								福祉支援室		
		2 ひとり親家庭の支援	実施	実施	実施	実施	実施	・ひとり親家庭小中学校入学支度金助成 R7年入学 16人・260,000円 ・母子・父子自立支援員 3人 ・母子家庭等自立支援給付金事業(就労に必要な技能・資格取得支援) 申請者なし	ひとり親家庭の支援を継続して実施する。								福祉支援室		
3児童虐待の相談、通告後の支援体制の強化	3児童虐待の相談、通告後の支援体制の強化		実施	実施	実施	実施	実施	関係機関との情報共有を図り、支援につなげることができた。 ・要保護児童ケース21件(R6年度末) ・要対協個別支援会議開催60回 ・虐待防止研修を全保育所で実施開催回数 4回／年	関係機関と連携を図り、児童虐待防止対策の充実と支援体制の強化を図る。									福祉支援室	
			実施	実施	実施	実施	実施	・出産・子育て応援交付金支給 86人 6,700,000円 ・乳児家庭保育支援手当支給(乳児を家庭で保育する世帯へ支給) 62人 11,298,038円 ・保育料軽減・減免(多子世帯、ひとり親世帯・障がい者世帯等) ・町外(私立幼稚園)保育料軽減事業 3人・312,900円 ・自然保育認証園事業費補助金 対象児童2名 346,000円	経済的負担の軽減のため、各種事業を継続して実施する。									福祉支援室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
の支4 支援子 進セ育 ンて一 タ一世 事包括 事業括	4子育て 世代包括 支援セン ターセ 事業の推 進	1 医療費等助成	実施	実施	実施	実施	実施	【特別医療費助成制度】 ・ひとり親: 593件 1,712,956円 ・小児: 22,593件 47,618,350円 【町医療費助成制度】 ・ひとり親: 8件 130,825円 【病院交通費助成制度】 ・出産時: 0件 0円	特別医療費助成制度及び町医療費助成制度に基づき、該当者への医療費助成を継続実施する。 また、病院交通費助成制度により、出産時や人工透析時の交通費を助成する。										健康 増進 室
		2 各種健康診査の充実	実施	実施	実施	実施	実施	【妊婦・乳児医療機関委託健診】 受診者数 ①妊婦一般健診 511人 ②乳児一般健診 88人 ③新生児聴覚検査 41人 ④産後健診 88人 【集団での乳幼児・1歳6か月児・3歳児・5歳児健診】 受診者数 ①乳幼児健診 50人/6回 ②1歳6か月児健診 62人/5回 ③3歳児健診 54人/4回 ④5歳児健診 81人/7回	母子の健康の保持・増進、乳幼児の健康管理及び病気の早期発見、早期治療を目指して、各種健診を実施する。										健康 増進 室
		3 不妊、不育治療費助成	実施	実施	実施	実施	実施	【特定不妊治療費助成事業】 延べ申請者数 3名 実人数 2名 うち妊娠者数 1名。 交付決定額合計: 125,000円	鳥取県特定不妊治療費助成金の交付決定を受けている者に上乗せして助成し、不妊治療に要する負担の軽減を図る。										健康 増進 室
		4 相談事業及び療育体制の充実	実施	実施	中止	中止	中止	【子育てカウンセリング事業】 心の健康相談、福祉課カウンセリング事業との線引きが難しく、対象者が重複していたため、廃止。訪問ケア、母子健診なんでも相談などで対応。※R5年度から	子育て全時期を対象とした個別相談事業を実施し、子育てに困り感のある保護者の対応を行う。										健康 増進 室
		5 訪問指導の充実	実施	実施	実施	実施	実施	【新生児・赤ちゃん訪問】 訪問対象件数 51件 実施率(R7.6月末時点) 100%	子育てに関する不安を軽減し、支援が必要な家庭は各関係機関に繋げるために、保健師が家庭訪問を実施する。										健康 増進 室

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
		シタ子育事業の代 の代 推進 支援セ	6 予防接種の 推進	実 施	実 施	実 施	実 施	【法定接種】 感染症による疾患の予防及び重症化を防止するため、法定の予防接種費用の全部、一部の費用助成を実施した。 【任意接種】 ・おたふくかぜ 41人 ・MR又は風しんワクチン 15人 ・インフルエンザ(13歳未満) 延601人	住民の感染症に対する免疫水準を維持するため予防接種の接種機会を安定的に確保する。また、接種勧奨を行い、接種率向上に努める。										健康 増進 室

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室						
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7						
【重点施策】																						
1 地域包括ケアシステムの構築																						
1 地域福祉の総合的な相談窓口の充実		実施	実施	実施	実施	実施		(生活相談室) 【主な内容の相談件数】 ①介護保険、保健福祉サービス 697件 ②権利擁護(成年後見制度) 3件 ③高齢者虐待 7件 ④認知症に関する事 96件 ⑤その他 64件 計867件 ※地域ケア会議の開催:32ケース (居宅との連絡会28ケース、困難事 例4ケース) (福祉課) 相談窓口や関係する機関が円滑に 連携できるよう以下の会議を開催し た。 ・子ども家庭総合支援連絡会 ・子ども施策関係機関連携 毎月定 期開催 ・支援分野が重なるケースでは関係 各分野が協力的に連携し支援を実施 した。支援調整の打合せを緊密に 行った。 ・相談機関連絡会、相談機関ネット ワーク会議は未実施。	(生活相談室) 生活相談室内の地域包括支援セン ターが中心となり、関係課、室及び 南部箕面屋広域連合、関係機関と 連携を図り、高齢者の福祉に関する 相談対応業務の充実を図る。	(福祉課) 相談機関の定期会議を開催し、課 題や必要情報の共有を図っていく 体制を整え、維持していく。 ①相談機関連絡会…毎月開催 ②相談機関ネットワーク会議…年 2回開催												福祉 支援 室 生活 相談 室
2 介護・福祉・生活支援サービスの充実		実施	実施	実施	実施	実施		(生活相談室) 介護用品支給事業 2名 住宅改良費助成事業 0件 高齢者安心見守り事業 0件 ICT活用による見守り支援事業 0件 家族介護教室 1回23名 障がい老人をささえる家族の会 12 回 (福祉課) 障害者に対する居宅介護、就労継 続支援などの障害福祉サービス費 の支給を行った。 給付総計 318,310,016円	(生活相談室) 介護されている家族や被介護者の 精神的負担軽減、介護等の情報交 換等できる集いの場を設けるととも に、在宅で重度の要介護者を介護 されている家庭等に経済的支援を行 う。	(福祉課) 障がい者の自立支援のため、引き 続き障害サービスの支給を行う。										福祉 支援 室 生活 相談 室		

4 健康で安心して暮らせるまち

4-2

調査表1

施策	【分野別施策】 取組みの方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑧数値目標及び目標達成状況							室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7					
		3 高齢者の生きがいづくりと生活支援体制の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①生活支援コーディネーターを配置 生活相談室1名、社協1名 ②第1層協議体会議 2回 ③高齢者の「通いの場」の継続に向けた意見交換会 46か所	地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)を町及び社会福祉協議会に配置、第1層(町全体)の協議体を設置し、地域における生活支援機能の充実・強化に向けて、関係団体間で情報共有や意見交換を行い支え合い活動を推進する。地域における交流活動を図るために、高齢者の「通いの場」をコーディネートし、通いの場の創設により交流活動の充実を図る。									生活相談室			
2 安心して生活できる環境づくり																					
		1 誰もが能力発揮できる環境整備	実施	実施	実施	実施	実施	①障がい者雇用奨励金支給事業 (未申請のため、実績なし。) ②身体障害者自動車改造費助成金 (未申請のため、実績なし。)	障がい者の自立支援のため、引き続き継続実施する。									福祉支援室			
		2 認知症対策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①町内医療機関医師との意見交換会 改善センター 1回 3名 ②認知症スクリーニング検査 住民健診等 355名 ③相談医によるもの忘れ相談会 岸本公民館 2回 2名 ④もの忘れ検診 受検者95人(申込者159人) ⑤認知症予防体験教室 溝口公民館 1回 14名 ⑥認知症予防教室 7会場 168回 延べ1804人	認知症予防対策事業に係る意見交換会を開催し、事業の内容や方向性について、町内医療機関と検討を行い、町内での実施体制の充実を図る。 住民健診の際にタッチパネルを利用した認知症の簡易スクリーニングを実施し、認知症の早期発見に努める。 また、もの忘れ相談会を開催し、認知症予防事業への参加や専門医への受診につなげる。												生活相談室
		3 介護予防施策の充実・推進	実施	実施	実施	実施	実施	①生活機能に関するアンケート調査 配布数 3,419名 回収数 2,978名 回収率 87.1% ②栄養改善・口腔機能向上教室 二部公民館 1回 12名 ③集落健康運動教室「まめまめクラブ」47集落 263回 延べ1,465名 ④シニアパワーアップ教室 未実施(参加者少なく休止)	要介護認定を受けていない高齢者を対象に生活機能に係るアンケートを実施し、生活機能の低下の早期発見・把握により予防事業等につなげ実施する。											生活相談室	
		4 高齢者の「通いの場」の充実	実施	実施	実施	実施	実施	高齢者の「通いの場」の継続に向けた意見交換会を実施した。 46か所(まめまめクラブ、ふれあいサロン等)	地域における交流活動を図るために、高齢者の「通いの場」の充実に向けコーディネートを行う。									生活相談室			

4-2

伯耆町総合計画(R3~7)

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑧数値目標及び目標達成状況							室 室			
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
		5 貧困などで自立が困難な方の生活支援	実施	実施	実施	実施	実施	<生活困窮> ①生活困窮者自立支援事業 伯耆町社協委託(1.2人役) 委託料7,270,070円 新規受付 7件/年 延べ支援実績 284件/年 プラン継続 6件 ②住居確保給付金 直営 支給申請なし <生活保護> 生活保護 ケースワーカー2名 31世帯(33人)R6.3.31現在 延べ相談件数23件/年 <その他> 低所得者に対する光熱費助成 対象 128世帯(5,000円/世帯) 助成総額 640千円 家計負担激変緩和対策 対象 128世帯(10,000円/世帯) 助成総額 1,280千円 灯油代等家計負担激変緩和対策 対象 137世帯(5,000円/世帯) 助成総額 685千円	<①現在の体制を維持し、他の関係する福祉分野との連携を強化して相談の質を高めていく。 ②経済対策等の緊急的な施策や制度改正に速やかに適切に対応していく。											福祉支援室
3 「我が事」・「丸ごと」の地域づくり																				
		1 支え合い活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に要する経費を対象に補助金を支出し、ボランティアセンターの運営を支援した。 <補助率>10/10 <支出済額>738,000円	支え合い活動推進するため、引き続き事業に要する補助を実施する。またボランティアセンターの機能強化に向け支援していく。										福祉支援室	
		2 小地域福祉ネットワーク活動の構築	実施	実施	実施	実施	実施	・民生児童委員協議会運営補助金 <交付額>2,158,044円 ・伯耆町社会福祉協議会補助金 <対象事業>愛の輪運動事業 <補助率>5/10 <交付額>499,776円	小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を実施する。										福祉支援室	
		3 福祉教育活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に要する経費を対象に補助金を支出し、ボランティアセンターの運営を支援した。 <補助率>10/10 <支出済額>738,000円	福祉教育活動の推進するため、引き続き事業に要する補助を実施する。										福祉支援室	

4 健康で安心して暮らせるまち

4-4

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
4 健康寿命の延伸																		
	1 生涯を通じた健康づくりの推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	①水中運動教室 月曜水中ウォーキング教室 1期:4人 2期:4人 火曜水中ジョギング教室 1期:3人、2期:6人 金曜ビヨンドミラクルアクア教室 1期:4人 2期:3人 ②フィットネス体験事業 町民の自発的・積極的な体力づくり によって、健康の保持増進を目的 に、1ヶ月に8回利用できる利用券を 発行し、利用してもらうことによって 運動習慣を身に付ける。 申請者 32人、利用者 27人	一人ひとりの体力や健康状態に応 じて、日常生活の中で無理なく手軽 にできる運動を推進するとともに、 生涯にわたって運動習慣が継続す るよう取り組みを勧める。 また、身体活動や運動に取り組み やすい環境づくりを行う。									健康 増進 室
	2 生活習慣病の早期 発見と早期治療、重 症化予防	実施	実施	実施	実施	実施	実施	①糖尿病性腎症重症化予防 保健指導実施 2人(後期高齢) ②高血糖での受診勧奨実施 対象者 6人 ③ヘルスアップセミナー(血糖改善 コース) 2回6人 ④ヘルスアップセミナー(気軽に生 活改善コース) 2回15人	生活習慣病の早期発見・早期治療 のため検診事業の充実を図るととも に、特に糖尿病性腎症重症化予防 のため医療機関と連携し個別に栄 養指導を実施する。								健康 増進 室	
	3 社会全体で健康を 支えるための社会環 境の整備	実施	実施	実施	実施	実施	実施	①健康ポイント事業 R6年1月～R6年12月実績 10ポイント達成者 1,442人 100ポイント達成者 12人 ②65歳未満の方のインフルエンザ ワクチン接種費用の一部(1000円/ 回)を助成 ・対象者数 5994人 ・接種者数 1,578人 ・接種率 26.3%	地域や世代間の相互扶助など、地 域や社会の絆が機能することによ り、社会全体が相互に支え合いな がら、住民が主体となって健康を守 る環境を整備する。								健康 増進 室	

4-4

伯耆町総合計画(R3～7)

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【分野別施策】(1) 保健医療																				
(1) 保健医療																				
<p>・生涯を通じての心と体の健康づくり対策の充実を図ります。</p> <p>・医療・介護の各部門間で連携した高齢者の一體的事業を推進します。</p> <p>・医療機関、事業所、保育所、学校等と連携し、健康支援を図ります。</p> <p>・地区組織を育成・支援し地域の特性を活かした健康づくり、健康増進への取り組みを推進します。</p> <p>・「フィットネス＆スタジオ パル」や「みぞくちテラソ」等を活かした健康づくりを推進するための環境整備を図ります。</p>	<p>1 日常生活における生活習慣の改善</p> <p>1 栄養生活改善の推進</p> <p>2 身体活動・運動習慣の定着の推進</p> <p>3 休養・心の健康(メンタルヘルス)の保持増進</p> <p>4 喫煙・飲酒対策の推進</p>	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>【健康対策課主体の事業】 ①中学校生活習慣病予防教室 1校、30人 ②集落での健康教室 テーマ:フレイル予防について 25回、145人 ③保育所アプリを活用した情報発信 年2回</p> <p>【食生活改善推進協議会に協力いた だいた事業】 ①団体健診会場における啓発 テーマ:たんぱく質摂取 年4回、120人 ②広報と動画配信を活用した食育 啓発 年2回</p> <p>【食生活改善推進協議会主体の事 業】 ①講習会 年6回、72人 ②公民館まつり試食提供 5会場、600人 ③イベントでの啓発 1回、41人</p> <p>【みぞくちテラソ利用体験事業】 申請者 32人 利用者 27人</p> <p>①、②R6年度より福祉課へ移管 ③自死対策として住民健診会場で 自死予防チラシ等を配布、ポスター での周知を実施した。</p> <p>①世界禁煙デー及び禁煙週間に合 わせて広報5月号への記事の掲 載、町内施設にポスターを掲示して 啓発を行った。 ②団体健診時の保健指導で禁煙外 来の受診勧奨を行った。 ③妊娠届出時に妊娠・授乳時にお ける喫煙の害を周知した。</p>	<p>適正体重に合った食事量や栄養バ ランスのとれた食事内容について理 解を深めるため、世代に応じた取り 組みを推進し、望ましい生活習慣の 定着を図る。</p> <p>生涯にわたって運動習慣が継続す るよう、運動習慣定着のきっかけづ くりを行う。</p> <p>生涯を通じてメンタルヘルスを保つ ため、睡眠やストレス解消に関する 正しい知識の普及啓発を図るととも に、心の病気を早期に発見し、早期 支援・早期治療につなげるため、相 談体制の整備を行う。</p> <p>喫煙による健康への悪影響を防ぐ ため、喫煙率の減少に向けて、禁煙 防止教育に取り組む。 また、アルコールと健康の問題につ いて適切な判断ができ、より健康的 な行動に結びつくように、関係機関 と連携し、飲酒が及ぼす影響や適 正な飲酒について普及啓発を図る。</p>	<p>特定健康 診査受診 率 (特定健診 の受診の 割合)</p>	<p>45.1% (R01)</p> <p>40.1% (R02)</p> <p>46.5% (R03)</p> <p>45.0% (R04)</p> <p>44.8% (R05)</p> <p>60.0%</p>	<p>健康 増進 室</p> <p>健康 増進 室</p> <p>健康 増進 室</p> <p>健康 増進 室</p>											

4 健康で安心して暮らせるまち

4-6

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		善1 日常生活における生活習慣の改	5 歯と口腔の健康対策の推進	実施	実施	実施	実施	①乳幼児健診等歯科相談 ②歯科健診、フッ素塗布 3回 ③歯みがき教室 4回 ④保育所フッ化物洗口事業 4保育所希望者 計144人 ⑤保育所フロス普及事業 4保育所延べ 8回、延156人 ⑥小中学校デンタルフロス普及事業 6小中学校 795人 ⑦小中学生家庭でのフッ化物洗口事業 6小中学校 希望者 118人 ⑧成人歯科相談 住民健診(131人)、 乳幼児健診(242人)	ライフステージに応じた歯科疾患の予防対策として、乳幼児期から学童期についてはう蝕予防、成人期は歯周病予防、高齢期は歯の喪失予防に重点をおいた取り組みを行う。									健康 増進 室
		2 生活習慣病の早期発見と早期治療、重症化予防	1 基本健康診査、がん検診等の充実	実施	実施	実施	実施	【基本健診】 健康診査:51人 特定健診:630人 後期高齢者健康診査:521人 【がん検診】 胃がん検診:1,332人 肺がん検診:1,396人 大腸がん検診:1,369人 乳がん検診:318人 子宮がん検診:657人 前立腺がん検診:335人 骨粗鬆症検査:182人 肝炎ウィルス検査:104人 胃がんリスク層別化検診:77人 【人間ドック】 国民健康保険人間ドック:214人 後期高齢者人間ドック:53人	高血圧や脂質異常の早期発見のため、20歳以上の方を対象に基本健康診査を実施する。 また、がんの重症化予防のために最も重要なことは、がんの早期発見、早期治療であるため、がん検診の普及啓発を図るとともに、がん検診を受診しやすい環境をつくることにより、がん検診の受診率向上を図る。								健康 増進 室	
		2 がん予防対策の充実	実施	実施	実施	実施	実施	【精密検査の受診勧奨】 精密検査受診率 胃がん:69% 大腸がん:60% 肺がん:73% 子宮がん:33% 乳がん:90% 前立腺がん:50%	がん検診で精密検査が必要と判断された方に精密検査の確実な受診を勧める。								健康 増進 室	
		3 循環器疾患予防対策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	【集団健診による特定健康診査対象者への個別相談・指導】 集団住民健診:19回/年 実施者数:437人	循環器疾患の発症を予防するため、個々の生活習慣と危険因子の関係、危険因子と循環器疾患との関係等、循環器疾患に関する正しい知識の普及を図る。								健康 増進 室	

4-6

伯耆町総合計画(R3~7)

4 健康で安心して暮らせるまち

4-7

調査表1

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑦数値目標及び目標達成状況							室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7			
早期生活習慣・慢 重病症の化早 予期防 見と 実施高 の齢 推者 の保 健事 業と 介護 予 防の 一 体 的 環支 境え の守 会整 る全 備た 体で の健 社会 を	4 糖尿病予防 対策の推進	4 糖尿病予防 対策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①ヘルスアップセミナー (1)血糖改善コース 1コース2回 参加6人／通知対象126人 (2)気軽に生活改善コース 1コース2回 参加15人／通知対象198人 (2)糖尿病性腎症重症化予防保健 指導 2人(後期高齢) ④高血糖での受診勧奨 年6人	個々の生活習慣と糖尿病の関係、 糖尿病の予防法など、糖尿病とそ の予防に関する正しい知識の普及 啓発を図る。										健康 増進 室
			実施	実施	実施	実施	実施	【集落健康運動教室「まめまめクラブ】 実施集落数 47集落 実施回数 263回 参加者数 延1,645人	各集落で実施する高齢者運動教室 及び高齢者水中運動教室で、フレイ ル状態の把握、フレイル予防の講 話や体験(ロコモチェック・握力測定 等)を実施する。										健康 増進 室
	1 生活機能の 維持	1 生活機能の 維持	実施	実施	実施	実施	実施	【まめまめプラス】 各集落で実施する集落健康運動 教室「まめまめクラブ」でフレイル予 防の健康教室を実施した。 実施回数 25回 参加者数 145人 ※併せて、災害時の備蓄術や、熱 中症予防、ヒートショック予防などに ついてお話しした。 ※R6年度は食事を中心にフレイル 予防の講話を実施した。 ※R6・R7年度、2年かけてまめま めクラブ実施集落で各1回実施予定。	保健師や管理栄養士などの専門職 が、各集落など身近な通りの場に 積極的に出向き、通りの場への参 加勧奨や健康講話及び個別健康相 談を実施する。										健康 増進 室
			実施	実施	実施	実施	実施	健康ポイント事業 R6年1月～R6年12月実績 10ポイント達成者 1,442人 100ポイント達成者 12人 ※R6年度からポイント付与対象事 業が4項目増え、100ポイント達成者 が増加した。	地域や世代間の相互扶助など、地 域や社会の絆が機能することによ り、社会全体が相互に支え合いな がら、住民が主体となって健康を守 る環境を整備する。										健康 増進 室

4-7

伯耆町総合計画(R3～7)

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑧数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		環境4 社会の会 で全 備体 で健 康を 支え 守る ため の社会	2 予防接種対 策の推進	実 施	实 施	实 施	实 施	【法定予防接種】 ・ヒブ延70人 ・小児肺炎球菌延134人 ・四種混合延76人 ・二種混合64人 ・BCG45人 ・MR138人 ・水痘107人 ・B型肝炎延140人 ・日本脳炎延251人 ・ロタウイルス延120人 ・子宮けいがん延264人 ・高齢者肺炎球菌37人 ・65歳以上インフルエンザ4,207人 ・新型コロナワクチン1,171人 【任意予防接種】 ・おたふくかぜ41人 ・MR又は風しんワクチン15人 ・インフルエンザ(65歳未満)1,578人	感染症による疾患の予防及び重症化を防止するため、法定の予防接種費用の全部、一部の費用助成を実施。 また、任意予防接種【おたふくかぜワクチン、水痘ワクチン、麻しん風しんワクチン、インフルエンザワクチン(65歳未満)】の費用の一部の助成を実施。									健康 増進 室
②医療・保健																		
	1 国民 健康 保険、 後期 高齢者 医療 保険の 健全な 財政 運営	1 医療費適正化事業	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	【医療費通知】 対象 伯耆町国民健康被保険者 回数 4回 レセプト件数 42,742件 通知数 8,078通	レセプト点検や医療費通知を継続して実施し、医療費の適正化を図る。								健康 増進 室	
		2 保険税・料徴 収率の向上	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	【国保】 短期被保険者証交付取扱要綱の規定に基づく納付交渉実施 →前年未納者へ通知及び納付交渉実施 令和6年12月2日からマイナ保険証に移行されたため、短期被保険者証及び資格証は廃止され、特別療養費(医療費が10割負担)に切り替えられた。 特別医療費対象世帯 7世帯	【短期証交付世帯()は資格証】 各年度決算時5.31現在 ・28年度 52(0) ・29年度 54(0) ・30年度 50(0) ・R元年度 46(0) ・R2年度 37(0) ・R3年度 43(0) ・R4年度 43(0) ・R5年度 41(0) ・R6年度 -(-) ※ 6年度中の短期証交付世帯数は38世帯	国民健康 保険税徴 収率(現年 分) 国民健康 保険資格 証明書交 付世帯数 (国保税滞 納者で資 格証交付 世帯の数) 国民健康 保険短期 被保険者 証交付世 帯数 (国保税滞 納者で短 期証交付 世帯の数)	96.8% ※5年 間の平 均 (H27 ～R1)	97.0%	97.1%	97.6%	97.6%	97.0%		

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況						室 室				
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7				
【分野別施策】(2)福祉																				
①地域福祉																				
・社会福祉協議会への支援を行うとともに連携を強化します。 ・地域住民の参加と協力により、地域における福祉活動の推進を図ります。 ・複雑化、複合化した課題に対応できるよう、総合的な相談支援体制の拡充を図ります。 ・生活困窮者に対して、生活困窮自立支援法を活用し相談体制の充実や適切な支援を行います。	1 地域福祉活動の推進	1 社会福祉協議会の活動支援と連携強化	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町社会福祉協議会補助金 65,981,004円 <対象事業>事務局運営、老人福祉センター運営事業、愛の輪運動事業、日常生活用具貸与事業、ボランティア推進事業、さわやか福祉事業、社協活動広報事業	伯耆町社会福祉協議会の活動を支援するため、事業に要する費用を補助するとともに、連携の強化を図る。	ボランティア登録者数 (伯耆町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録している人数)	46人 (※R1実績)	40人	52人	50人	47人	50人	福祉支援室			
		2 福祉ボランティア活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に要する経費を対象に補助金を支出し、ボランティアセンターの運営を支援した。 <補助率>10/10 <支出済額>738,000円	福祉ボランティア活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を実施する。											
		3 小地域福祉ネットワーク活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	・民生児童委員協議会運営補助金 <交付額>2,158,044円 ・伯耆町社会福祉協議会補助金 <対象事業>愛の輪運動事業 <補助率>5/10 <交付額>499,776円	小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を実施する。											
	2 地域セーフティネットの充実	1 地域における総合相談・支援体制の拡充	検討	実施	実施	実施	実施	相談窓口や関係する機関が円滑に連携できるよう以下の会議を開催した。 ・子ども家庭総合支援連絡会 ・子ども施策関係機関連携 毎月定期開催 ・支援分野が重なるケースでは関係各分野が協力的に連携し支援を実施した。支援調整の打合せを緊密に行なった。 ・相談機関連絡会、相談機関ネットワーク会議は未実施。	相談機関の定期会議を開催し、課題や必要情報の共有を図っていく体制を整え、維持していく。 ①相談機関連絡会…毎月開催 ②相談機関ネットワーク会議…年2回開催 ・住民への相談窓口や制度周知を広報、HPやチラシを活用して実施する。	①伯耆町社協委託により、相談窓口体制でニーズ対応できる体制を維持する。 ②相談機関連絡会や相談機関ネットワーク会議に参加し窓口の質を高める。 ③現在実施していない任意事業実施はニーズ動向を見て実施検討する。 ④住民への制度周知は今後もHPやチラシを活用して実施する。							福祉支援室			
		2 生活困窮者自立支援	実施	実施	実施	実施	実施	生活困窮者自立支援事業を伯耆町社協に委託(委託料7,270,070円)し下記概要で実施。 <相談窓口体制> 主任相談支援員(1人)、相談支援員兼就労支援員(3人) 平日8:30~17:15受付 新規受付 7件/年 延べ支援実績 284件/年 プラン継続 6件												

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況						室 室		
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
②介護・高齢者福祉	[取組の方向性] ・地域生活課題に対応した相談体制の充実を図ります。 ・高齢者が地域で自立した生活を営むことができるよう介護・福祉サービス等の充実を図ります。 ・「共生」と「予防」を車の車輪として、認知症ケア対策を推進します。 ・高齢者の社会参加と地域での生きがいづくりを支援するため、生活支援体制の整備を推進します。	1 高齢者の総合的な相談窓口の充実	1 総合相談体制の充実	実施	実施	実施	実施	【主な内容の相談件数】 ①介護保険、保健福祉サービス 697件 ②権利擁護(成年後見制度) 3件 ③高齢者虐待 7件 ④認知症に関すること 96件 ⑤その他 64件 計867件	生活相談室内の地域包括支援センターが中心となり、関係機関等と連携し、高齢者の福祉に関する相談対応業務を行う。	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室
ビ 2 ス 高 の 齢 充 実 の 介 護 ・ 福 祉 ・ 生 活 支 援 サ ー	1 高齢者福祉活動の推進	2 権利擁護の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①成年後見制度相談 3件 ②成年後見町長申立て 0件 ③「なんでも相談会」 1回	権利擁護に関する相談及び活用の支援を行う。また、専門的な法的支援を必要とする事例や困難事例への対応、市民後見人の養成等を成年後見サポートセンターへ事業委託し、高齢者等の成年後見制度の活用や権利擁護を推進するため、住民を対象とした「なんでも相談会」開催、町長申し立てによる制度利用を進める。	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室
	3 高齢者の防災・防犯対策	実施	実施	実施	実施	実施	実施	R6.9台帳更新 登録者数 2,254人	集落が管理する災害時要援護者台帳とは別に、災害時、適切に避難等行えるよう要介護者等で支援が必要な高齢者等の台帳を整備する。	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	
	1 高齢者福祉活動の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	①介護支援ボランティア養成研修 ※R5からボランティアセンターの運営主体である社会福祉協議会に移行。 ②高齢者実態把握及び見守り業務 ・実態把握件数 27件 ・見守り件数 57件 ③緊急通報受信業務 ・登録者数 14名 ④救急医療情報キット配布業務 ・配布数 0名	高齢者とその家族等の状況把握・ニーズ評価のため訪問調査を実施する。なお、訪問調査により見守りが必要な高齢者宅を支援員が定期訪問、近況を確認し、連絡会を行方針を検討する。また、緊急時の通報や救助活動のため支援を行う。	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室
	2 介護保険事業との連携	実施	実施	実施	実施	実施	実施	①推進協議会 5回 (オンライン会議及び集合形式) ②地域包括支援センター連絡会 7回 ③認定申請件数 520件	南部箕面屋広域連合と推進協議会を通じて連携し、介護保険事業の適正な運営による介護保険サービスの確保を図る。	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	生活相談室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
生2 高齢者 支援の 一介護 サービス の福 祉充 実・ 3 高齢者 の生 きが いづ くりと 生活 支援 体制 の推 進	3 福祉サービ スの充実	3 福祉サービ スの充実	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	①介護用品支給事業 2名 ②住宅改良費助成事業 0件 ③高齢者安心見守り事業 0件 ④ICT活用による見守り支援事業 0件 ⑤家族介護教室 1回23名 ⑥障がい老人をささえる家族の会 12回	0	介護されている家族や被介護者の精神的負担軽減、介護等の情報交換等できる集いの場を設けるとともに、在宅で重度の要介護者を介護されている家庭等に経済的支援を行う。								生活 相談 室
			实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	(生活相談室) ①第1層協議体(伯耆おたがいしまネット)の開催 2回 ②通いの場での意見交換会 46か所 (まめまめクラブ、ふれあいサロン等)	(生活相談室) 町及び社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、互いに連携を図り、地域に働きかけながら、通いの場の充実に努める。また、第1層(伯耆町全域)協議体を開催し、情報共有と連携強化を図る。								福祉 支援 室 生 活 相談 室	
	1 支え合いの 体制づくり、生 きがい事業の 推進	1 支え合いの 体制づくり、生 きがい事業の 推進	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	(福祉課) 老人クラブ連合会、単位老人クラブが行う、支え合い事業、活動等に対し補助金を助成し、生きがい事業の推進を図った。	(福祉課) 老人クラブ連合会の事務局である伯耆町社会福祉協議会と連携を取り、老人クラブ連合会、単位クラブの各事業の推進を図る。								福祉 支援 室	
			实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	南部広域シルバー人材センターの活動を支援するため補助を行った。6,609,504円	南部広域シルバー人材センター活動を支援するため、引き続き補助を実施する。	シルバー人材センター会員数 (南部広域シルバー人材センターに登録している人数)	155人 (※R1 年度 末)	143人	149人	139人	141人	165人	福祉 支援 室	
	3 高齢者活動 の支援	2 シルバー人 材センターの 活動支援	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・老人クラブ連合会の事業活動に対し補助金助成。 694,000円 ・各単位老人クラブの事業活動に対し補助金助成。 34クラブ 総計2,114,000円	老人クラブの活動活性化を支援するため、引き続き補助を実施する。								福祉 支援 室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
充実化推進	4 認知症対策の推進	1認知症ケア対策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	認知症地域支援推進員を1名配置し、次の事業を実施した。 ①認知症予防体験教室 1回14名 ②認知症予防教室(はつらつ教室) 本教室 12回延べ93名 フォロー教室(月2回)168回 延べ1,804名 ③認知症初期集中支援チーム員会議 5回 ④認知症カフェ 2カ所 23回	認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護等の連携強化等により地域の支援体制構築と認知症ケア向上を図る。また、スクリーニング等の結果をもとにニーズに応じた認知症予防事業等への参加につなげる。								生活相談室	
		1 介護予防の推進	実施	実施	実施	実施	実施	①シニアパワーアップ教室 未実施(参加者少なく休止) ②栄養改善・口腔機能 1回12名	生活機能に係るアンケート調査を実施することで、寝たきりなどの原因となる生活機能の低下を早期発見・把握し、必要な介護予防事業につなげる。	生活相談室								
	5 介護予防の充実、推進	2 高齢者の保健事業と介護予防の一貫的な実施	実施	実施	実施	実施	実施	【集落健康運動教室「まめまめクラブ」】各集落で実施する集落健康運動教室での健康相談を実施した。 実施回数:47集落 263回 延参加者数1,645人	高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、社会参加支援を、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険データを統合し、一貫的に実施する。	健康増進室								
		1 地域における交流活動の拡充	実施	実施	実施	実施	実施	高齢者の「通いの場」の継続に向けた意見交換会を実施した。 46か所 (まめまめクラブ、ふれあいサロン等)	地域における交流活動を図るために、高齢者の「通いの場」をコーディネートし、通いの場の創設や維持により交流活動の充実を図る。	生活相談室								
	6 高齢者の「通いの場」の充実化	2 介護予防の推進(再掲)	上記 5-1と同じ														生活相談室	
		3 高齢者の保健事業と介護予防の一貫的な実施(再掲)	上記 5-2と同じ														健康増進室	

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	(ア)実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	(イ)数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
(3)障がい者福祉	[取組の方向性] ・障がい者の社会参加へ向けた環境整備に努めます。 ・障がい者の地域での暮らしを支援します。 ・障がい者差別、虐待の無い環境整備に努めます。 ・障がい者就労支援施設等からの物品調達を推進します。	進1 障がい 者の 社会 参加 の促 進	1 障がい者社会参加推進活動拠点の運営支援	実 施	実 施	实 施	实 施	溝口駅前の障害者社会参加推進の施設運営費支援実施事業所(伯耆みらい運営)補助金助成 2,400,000円 営業日254日、職員体制3人 地域でのふれあい居場所づくりとして、茶話会等の実施。町内イベントに参加。	障がい者社会参加を推進するため、引き続き施設の運営に対し補助を実施する。 地域で障がい者も参画するふれあいの居場所としての活用例が増加するよう取り組む。	一般就労への移行者数(就労移行、就労継続支援事業の利用者のうち、一般就労へ移行した人數)	1人	0人	0人	1人	2人	1人以上	福祉支援室
			2 就労移行及び就労継続の支援	实 施	实 施	实 施	实 施	就労継続支援A型 20人 就労継続支援B型 65人	障がい者の社会参加を推進するため、引き続き就労移行及び就労継続の支援を実施する。								
		2 障がい 者の 地域 で の 生 活 支 援	1 地域生活支援事業	实 施	实 施	实 施	实 施	障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援事業、移動支援事業、意思疎通支援事業など地域の特性や利用者の状況に応じ、13事業を実施した。 西部9市町村共同委託 3事業 直営事業 8事業 委託事業 2事業 総額 11,133千円	障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、引き続き事業を実施する。また、ニーズに応じ事業や制度を見直していく。	一般就労への移行者数(就労移行、就労継続支援事業の利用者のうち、一般就労へ移行した人數)	1人	0人	0人	1人	2人	1人以上	福祉支援室
			2 相談支援体制の充実	实 施	实 施	实 施	实 施	障害者相談支援事業(一般相談支援事業)をNPO法人伯耆みらいに委託して実施した。 3,300,000円	相談支援体制の充実を図るため、引き続き相談事業を委託実施する。								
			3 障がい者福祉団体等の支援	实 施	实 施	实 施	实 施	伯耆町身体障害者福祉協会補助金助成 84,000円	障がい者の社会参加を推進と、安心して生活のできる社会づくりのため、引き続き運営費の補助を実施する。								
		の3 充 障 実 が い 者 の 福 祉 サ ー ビ ス	1 障がい者福祉サービス給付事業	实 施	实 施	实 施	实 施	障害者に対する居宅介護、就労継続支援などの障害福祉サービス費の支給を行った。 給付総計 318,310,016円	障がい者の自立支援のため、引き続き障害サービスの支給を行う。	一般就労への移行者数(就労移行、就労継続支援事業の利用者のうち、一般就労へ移行した人數)	1人	0人	0人	1人	2人	1人以上	福祉支援室
			2 自立支援医療給付事業	实 施	实 施	实 施	实 施	自立支援医療(更生医療)決定 52件 医療費助成14,721,577円 自立支援医療(育成医療)決定 3件 医療費助成125,755円	障がい者の自立支援のため、引き続き医療費の給付を行う。								
			3 補装具費の給付	实 施	实 施	实 施	实 施	支給決定20人 1,578,076円	障がい者の自立支援のため、引き続き補装具の給付を行う。								

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
		3 障 が い 者 の 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	4 医 療 費 等 助 成 事 業	実 施	実 施	实 施	实 施	【特別医療費助成制度】 ・身体障害者: 4,371件 24,495,525 円 ・知的障害者: 424件 1,703,198 円 ・精神障害者: 142件 1,842,975 円 【町医療費助成制度】 ・身体障害者: 47件 221,469円 ・知的障害者: 14件 108,257円 ・精神障害者: 47件 665,555円 ・自立支援: 82件 733,260円 【病院交通費助成制度】 ・人工透析: 18件 180,000円	特別医療費助成制度及び町医療費助成制度に基づき、該当者への医療費助成を実施する。 人工透析療法を受けるために医療機関へ通院する方へ交通費助成を行う。 (H29年度から)	障がい者 就労支援 施設等から の物品 等調達 (障がい者 就労支援 施設等で 就労する 障がい者 の経済面 の自立を 進めるた め、町役 場におけ る当該施 設等から の物品調 達額)	879,42 0円(※ R1実 績)	793,23 7円	801,48 3円	701,19 4円	775,69 1円	1,000,0 00円	健康 増進 室

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況						室 室					
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7					
【重点施策】																					
1 将来を見据えた行政課題への対応																					
		1 庁内プロジェクトを活用した横断的な組織による検討	実施	実施	実施	実施	実施	以下の3つのプロジェクトを実施 ①大山春雪さぶーる大山工場イベント ②大型イベント1回、ミニイベント3回 ③自治体DX→標準化への取組: 視察1回 ④新しい集落コミュニケーションツール→防災無線を活用した集落有線放送の実現に向けた情報収集を実施。	新たな行政課題への対応と社会情勢の変化や住民ニーズに的確に対応できる組織・職員を目指し、府内プロジェクト・チームを活用する。 (項目例) ・新しい集落コミュニケーションツール(集落放送と防災無線放送との一体化など)、スマート行政、Society5.0などのICTの推進 など										経営企画室		
		2 プロジェクト・チームによる人材育成	実施	実施	実施	実施	実施	以下の3つのプロジェクトについて、横断的なプロジェクトチームの活用を検討することで、能力・資質の向上、他課との関係構築による協働意識や専門知識の習得、スピード・コスト意識・柔軟性などの想定される効果により、人材育成が図られた。 ・大山春雪さぶーる大山工場イベントプロジェクト(R3~) ・自治体DX推進プロジェクト(R4~) ・新しい集落コミュニケーションツールプロジェクト(R4~)	継続して横断的なプロジェクトチームの活用を検討することで、能力・資質の向上、他課との関係構築による協働意識や専門知識の習得、スピード・コスト意識・柔軟性などの想定される効果により、人材を育成する。										経営企画室		
2 住民参画の推進																					
		1 アンケート、パブリックコメント、施策提言による住民意向の反映	実施	実施	実施	実施	実施	(教育委員会) 伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部改正について、パブリックコメントを実施。 (福祉課) ・伯耆町こども計画についてパブリックコメントを実施。	・計画策定時などに住民意向を反映するため、積極的にアンケート、パブリックコメントを活用する。 ・生活機能に関するアンケート調査は、要介護認定を受けていない高齢者を対象に毎年実施し、生活機能の低下の早期発見・把握により予防事業等につなげ実施する。									各課			
		2 積極的な行政情報の提供と放送施設の長寿命化	実施	実施	実施	実施	実施	年間を通じ、広報、HP、CATV放送による行政情報提供を実施。また、CATV番組の一部をYoutube配信を開始した。放送施設の長寿命化に向けて、放送センターの大規模改修工事を実施した。	行政情報の提供に関しては、漏れなく伝わりやすさに留意し、媒体を効率的に利用し、継続的に実施。放送施設の長寿命化については放送センターのR5年度に改修工事を実施する。							町づくり推進室					

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
3 まちづくり・地域活動の機能強化	1 集落、区長協議会を中心としたまちづくり活動の支援	実施	実施	実施	実施	実施	実施	各集落に対し自治活動交付金を交付し集落活動の支援を行う。また区長協議会に対しても活動支援事業交付金を交付し活動の支援を行った。 定例会 2回実施 役員会 4回実施 環境美化活動事業 1回実施 防災活動事業 悪天候のため中止	継続的に支援を行い、住民主体の地域活動の円滑な実施を図る。								町づくり推進室
	2 地区協議会による地域活動の支援	実施	実施	実施	実施	実施	実施	地区協議会が設置される二部・日光地区に対し、協働のまちづくり事業支援交付金や集落支援員の配置などの支援を行い地域活動の支援を行った。	人口減少等の急速な進行が見られる二部・日光地域へ集落支援員を配置し継続的に地域活動の支援を行う。							町づくり推進室	
4 効果的で効率的な行政運営	1 デジタル化、ICTを活用したスマート行政による住民サービスの向上	実施	実施	実施	実施	実施	実施	証明書発行マルチコピー機を本庁舎、分庁舎にR6.10設置。	自治体DX推進計画による手続きオンライン化・業務システム標準化を完了し電子窓口、コンビニ交付等も踏まえた自治体の電子化を図る。							町づくり推進室	
	2 財政健全化による持続可能な行政運営	実施	実施	実施	実施	実施	実施	全事務事業見直しによる事業のスリム化、特定財源の確保による一般財源の縮減、計画的な地方債運用など、より一層の財政健全化に向けた取り組みを実施した。	毎年、継続実施。							総務課	
	3 公共施設適正化の推進	実施	実施	実施	実施	実施	実施	計画の進捗管理を行った。	計画の進捗管理を行い、随時見直しを実施する。							総務課	
5 移住・定住につながる交流人口・関係人口の拡大	1 関係人口拡大に向けた新たな取り組みの検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	ワーケーション自治体協議会に加入しており、新たな情報の入手等を行った。	人口拡大を推進する取り組みとして、啓発による利用者誘致等に継続的に取り組む。							町づくり推進室	

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		2 新たな生活様式を意識したIJUターンの推進	実施	実施	実施	実施	実施	お試し住宅利用実績 4件 (A)利用者住所:大阪府 利用期間:26日間 利用人数:1名 (B)利用者住所:大阪府 利用期間:10日間 利用人数:4名 (C)利用者住所:東京都 利用期間:11日間 利用人数:2名 (D)利用者住所:岐阜県 利用期間:90日間 利用人数:3名	移住相談会等に継続的に参加し、啓発機会の増加に努める。									町づくり推進室
【分野別施策】(1)コミュニティ																		
①まちづくり																		
・新しい生活様式を踏まえた新たなコミュニティ活動の検討を行います。 ・住民が行政に参画しやすい環境を継続的に提供します。 ・個人情報の保護に配慮し、行政情報の公開を積極的に推進します。 ・まちづくりに主体的に取り組む団体等の育成と活動の支援を行います。 ・地域の実情に応じた地域支援活動を推進します。	1 行政情報の提供	1 広報紙の充実	実施	実施	実施	実施	実施	毎月1回広報紙発行	継続的に発行し、行政情報の提供に努める。								町づくり推進室	
		2 CATVの活用促進	実施	実施	実施	実施	実施	毎月制作会議を開催。 行政番組を月2本、その他ニュースを放送。 ニュース 596本 企画制作 222本 その他 194本 等	毎月制作会議を開催 行政番組を月2本、その他ニュースを放送									町づくり推進室
		3 ホームページの充実	実施	実施	実施	実施	実施	前年に続き、ウェブサイト手入れ強化月間を設けるなど、情報の充実を図った。	適宜修正を行い、利用者が見やすい探しやすいサイトを実現する。								町づくり推進室	
		4 防災無線の活用	実施	実施	実施	実施	実施	平日、土曜の朝と夜に全町に向けて行政情報の発信を行った。	防災無線を通じて、行政情報を提供する。								総務課	
	2 住民参画の促進	1 住民ニーズや満足度の把握	実施	実施	実施	実施	実施	町政提案箱を町内公共施設8カ所に設置し、住民の提案等の受付を行った。更に、町ホームページでも住民の意見や提案等を受付けた。 町政提案箱 R6年度提案実績 8件	町政に対する建設的な意見、提案を積極的に町の施策に反映させる。									町づくり推進室
	2 住民の声に応える仕組みづくり	実施	実施	実施	実施	実施	各集落にパートナー職員を配置し、年3回の区長との定期連絡を行っている。 公共施設(町内8箇所)に町政提案箱を設置し随時受付実施、R6年度は、8件の提案があった。このほか、ホームページを通じて住民の声に応えている。	公共施設に設置した町政提案箱、町ホームページを通じて住民の声に応える。										町づくり推進室

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	①実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
		の 3 支 ま 援 ち づ く り 団 体	1 集落支援員 の配置	実 施	実 施	実 施	实 施	二部・日光地区に各1名ずつ集落支援員を配置、集落点検及び地域活性化団体や公民館活動の支援を実施。	過疎化の急速な進行が見られる二部・日光地域へ集落支援員を配置し継続的に地域活動の支援を行う。	「集落など 自主的活動の支援 と地域リーダー育成」 の満足度	0.34点 ※R2.7 実施アンケート結果	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	0.40点	町づくり推進室
		2 協働のまち づくり事業支援 交付金の活用	実 施	実 施	実 施	实 施	实 施	二部地区活性化推進機構、日光地区活性化推進協議会に対し交付金を支給し活動を支援。	継続的に支援を行い、住民主体の地域活動の維持継続を図る。							町づくり推進室	
②集落活動																	
	・集落公民館、集会所などのコミュニティ活動拠点施設の整備充実を支援します。 ・集落活動への住民参加が促されるよう、支援を行います。 ・集落間の相互協力のあり方について検討を行います。 ・集落の活性化等につながる主体的な取組に対して支援します。 ・集落に悪影響を及ぼす空き家等の減少や発生の抑制を図ります。	1 コ ミ ュ ニ テ イ 環 境 の 整 備	1 公共施設整備事業	实 施	实 施	实 施	实 施	公共施設整備事業 ・公民館等の整備拡充等3件 (宮原・大寺・溝口一区) ・その他付随設備2件 (船越) ・墓地外構3件 (上細見・根雨原・父原)	集落の5か年計画に基づき、集落施設の整備を100%行う。また災害等の緊急修繕の対応を行い、集落維持の支援を行う。	「集落など 自主的活動の支援 と地域リーダー育成」 の満足度 (1)コミュニティ①まちづくりと同じ	0.34点 ※R2.7 実施アンケート結果	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	アン ケート 未実施	0.40点	町づくり推進室
			2 コミュニティ 助成事業	实 施	实 施	实 施	实 施	一般コミュニティ助成事業採択 1件 (久古区)	各集落等からの申請に応じ、県を通じて自治総合センターへ申請し、集落の大規模整備等の支援を行う。							町づくり推進室	
			3 公園施設整備事業	实 施	实 施	实 施	实 施	公園整備 (三部二区)	集落の5か年計画に基づき、集落公園の整備を100%行い、集落公園維持の支援を行う。							町づくり推進室	
			4 空き家等対策事業	实 施	实 施	实 施	实 施	集落等から適正な管理依頼のあつた空家の所有者に対して通知等により勧奨を行った。 空き家除却件数 9件	空家等対策推進補助金により除却した空家の件数 2件(R3実績)。今後も継続的に、勧奨、除却に対する補助金の交付を行う。							総務課	
動 2 の住 民活 動・ 集 落活	1 協働のまち づくり支援事業 2 集落活性化 モデル事業		1 協働のまち づくり支援事業	实 施	实 施	实 施	实 施	二部地区活性化推進機構、日光地区活性化推進協議会に対し交付金を支給し活動を支援。	継続的に支援を行い、住民主体の地域活動の維持継続を図る。							町づくり推進室	
			2 集落活性化 モデル事業	实 施	实 施	实 施	实 施	区長協議会で事業の周知を行った。 R6年度実績無し 計画策定、事業実施ともに要望集落なし。	集落活性化のため集落で計画策定や計画に基づいた事業実施に対し交付金を交付し、集落の活性化を支援する。							町づくり推進室	

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	①実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
③ 交流・定住	・新しい生活様式を踏まえた国際交流、国内交流、地域間交流への取り組み方法の検討を行います。	2 住民活動・集落活動の活性化	3 集落再編事業	実施	実施	実施	実施	令和6年度実績無 【伯耆町集落再編事業支援交付金交付要綱】 目的:集落機能の維持や地域の活性化を目的として、話し合いや研修会の実施により集落再編に取り組む集落で組織する団体(2つ以上の集落で集落再編に取り組む伯耆町区長協議会に属する集落で構成されたものに限る)に対して、予算の範囲内において交付する。 交付金額:1構成集落当たり10,000円	集落再編を希望する集落に交付金を交付し集落再編(統合等)を支援する。									町づくり推進室
			4 中山間地域活性化事業	実施	実施	実施	実施	集落支援員による集落活動の支援を実施。 地域活動補助事業 実績無 集落支援員配置2名(日光・二部地区)	地域活動補助事業による地域活動の支援及び集落支援員による集落活動の支援を実施し、中山間地域の活性化を図る。									町づくり推進室
		3 集落との連携	1 区長協議会の運営	実施	実施	実施	実施	各集落に対し自治活動交付金を交付し集落活動の支援を行う。また区長協議会に対しても活動支援事業交付金を交付し活動の支援を行った。 定例会 2回実施 役員会 4回実施 環境美化活動事業 1回実施 防災活動事業 悪天候のため中止	区長協議会運営事業 定例会 2回実施 役員会 3回実施 環境美化活動事業 1回実施 防災活動事業 1回実施									町づくり推進室
			2 パートナー職員制度の活用	実施	実施	実施	実施	毎年3回の定期連絡を通して、集落や住民のニーズ把握に努め、住民と行政のパートナーシップを形成した。	集落等のニーズ把握に努め、住民と行政のパートナーシップを形成する。									町づくり推進室
		進1 地域間交流の推進	1 地域活動補助事業	実施	実施	実施	実施	R6年度 2件実施(宮原、谷川)	住民の自主性・主体性に基づいて行なう地域の活性化のための活動に対して補助金を交付することにより、住民活動のパワーアップを図るとともに、地域コミュニティを活性化し、個性を活かしたまちづくりの推進を図る。								町づくり推進室	

5 住民とともに創る持続可能なまち

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	①実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
く3 り国 際 推 進 豊 か な 人 づ く り 推 進 室 ・ 総 務 学 事 室	4 定 住 ・ 移 住 く り 推 進 室 ・ 総 務 学 事 室	1 多様な文化理解講座の開催	実施	実施	実施	実施	実施	ALTによる英会話教室を公民館で開催(週1回)	ALTによる英会話教室の継続開催							経営企画室・総務学事室	
		2 外国籍の住民との文化交流	実施	実施	実施	実施	実施	広報紙にALT通信を隔月掲載	広報紙の「ALT通信」において、ALTの活動報告や国際的な視野を持った記事を継続して掲載する。								
		1 県西部地域振興協議会との連携によるIJUターン施策	実施	実施	実施	実施	実施	鳥取西部地域振興協議会での移住サイトが閉鎖。 内容については、別団体HPで提供。	別団体との連携でIJUターン施策の情報提供を行う。								町づくり推進室
		2 ワークーション、特定地域づくり事業協同組合などの就労できる環境の検討	実施	実施	実施	実施	実施	ワークーション自治体協議会に加入しており、新たな情報の入手等を行った。	人口拡大を推進する取り組みとして、啓発による利用者誘致等に継続的に取り組む。								町づくり推進室

【分野別施策】(2) 行財政

①行政運営

- ・総合計画及び総合戦略の進行を調査管理し、計画に基づいた計画的な行政運営を展開します。
- ・地方分権に対応することができる組織機能の強化と人材の育成を図ります。
- ・人材育成基本方針に基づく職員の意識改革を行います。
- ・職員の資質向上を目指して、職員研修を充実します。
- ・効率的な組織・機構を確立するため、行政組織の点検、検討を行います。
- ・事務事業の効率化を推進するため、事業の統廃合、見直しを行います。

1 柔軟で 効率的 な行政 の確立	1 総合計画及び総合戦略の進行管理	実施	実施	実施	実施	実施	第3次総合計画のR5年度の取組状況(施策・事業)を調査し、審議会において審議した。	毎年、取組状況(施策)調査、取組予定(事業)調査を実施し、状況を取りまとめ、審議会において審議後、結果を議会全員協議会での報告し、公表する。また、計画終了年度には5年間を取りまとめ、次期総合計画へつなげる。								経営企画室
	2 事務事業の見直しと民間能力の活用の検討	実施	実施	実施	実施	実施	H28年度から健康増進施設のプログラム開発、運営支援について民間企業に委託している。2施設において、継続して民間能力を活用している。 ・フィットネス＆スタジオパル(H29～R4) ・みぞくちテラソ(R1～R4)	より良く事務事業ができるよう毎年見直しを検討するとともに民間能力の活用の機会も検討し、必要があれば実施する。								
	2 職員資質の向上	1 職員研修の推進	実施	実施	実施	実施	R6年度研修参加者数57名 職員・会計年度任用職員に向けたメンタルヘルス研修を実施	R4年度まではコロナにより研修の中止が相次いだ為、R5年度以降は受講できなかった研修に職員を派遣する。	職員研修 参加人員 (外部研修 に参加し た職員数)	85人	43人	70人	63人	57人	85人	総務課
	2 人材育成基本方針に基づく人材開発の実施	実施	実施	実施	実施	実施	人事評価制度における能力評価及び目標管理を実施し、併せて研修希望の取りまとめを行った。	毎年度、人事評価制度における能力評価及び目標管理を実施し、併せて研修希望の取りまとめを行った。								総務課

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	⑨数値目標及び目標達成状況							室 室	
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7		
		上 3 ・公 共 施 設 等 の 機 能 向	1 公共施設等 総合管理計画 に基づく施設 管理の実施	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	八郷小学校特別教室棟の改修工事 を実施。その他、各施設とも引き続 き適正な管理を実施。	R4年度は、岸本保健福祉センター の改修工事を実施予定。 R5年度は、B&G海洋センタープー ル、総合スポーツ公園トイレ等の改 修工事を実施予定。 R6年度は八郷小学校特別教室棟の 改修工事を実施予定。 その他、各施設とも引き続き適正な管 理を実施する。	公共施設 建築面積 (町が保有 する建物 施設の全 体延面積)	80,276 m ²	80,261 m ²	80,227 m ²	80,227 m ²	80,227 m ²	79,031 m ²	総務 課
②財政運営																		
・公債費の縮減等による将来 負担の軽減を図ります。 ・コスト意識や経営感覚を取り 入れた財政運営を行います。 ・新たな財政需要等へ対応す るため、自主財源の確保を図 ります。 ・財政状況についての情報公 開や情報提供を積極的に行 います。	1 将 來 負 担 の 軽 減	1 新たな起債 の抑制(適債 性のチェック・ 事業費総額の 圧縮等)	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	補助金等の特定財源を確保し、地 方債発行額を必要最小限に抑え た。	毎年、継続実施。									総務 課
		2 交付税措置 等のある有利 な起債の選択	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	過疎対策事業債、公共施設等適正 管理推進事業債など起債充当率、 交付税措置率の高い起債を活用し た。	毎年、継続実施。									総務 課
		3 地方債の繰 上償還の検討	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	繰上償還該当事業なし	毎年の決算状況を勘案し、継続して 検討。									総務 課
		4 将來の財政 出動に備えた 計画的な基金 積立	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	<令和6年度積立額> ・財政調整基金:420千円 ・減債基金:32,100千円	決算剩余金や臨時的な収入による 積立を継続して検討。									総務 課
	リ 2 入 れ ス た ト 財 意 識 運 や 營 感 覚 を 取	1 全事業事 業見直し(再編・ 廃止・統合等)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	次年度当初予算編成に向け、全事 業事業見直しを実施した。(11月)	毎年、継続実施。									総務 課
		2 予算編成1 件査定による 経費の削減	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	前年度に引き続き、継続して実施し た。	毎年、継続実施。									総務 課
		3 第3セクター 等外部団体の 経営改善	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	該当法人の決算状況の報告を求 め、9月議会において議会へ報告し た。	毎年、継続実施。									総務 課
		4 計画的な地 方債運用	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	地方債充当先の大部分を占める普 通建設事業は減少傾向にあるた め、今後も「借入額<償還額」という 運用になる見込みである。	毎年、継続実施。									総務 課

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	①実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況							室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定時 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7	
3 財 源 の 確 保	1 町税等の徵 収対策の強化	3 財 源 の 確 保	実 施	实 施	实 施	实 施	实 施	【徵収実績()内は国保税】 ・R2年度 現年 97.12%(97.04%) 滞縁 12.31%(25.01%) 10,340千円 (9,399千円) ・R3年度 現年 99.14%(97.01%) 滞縁 31.33%(22.42%)33,718千円 (7,412千円) ・R4年度 現年 99.12%(97.05%) 滞縁 9.89%(18.87%)8,147千円 (5,836千円) ・R5年度 現年 99.23%(97.63%) 滞縁 9.89%(21.17%)7,850千円 (6,388千円) ・R6年度 現年 99.22%(97.63%) 滞縁 11.66%(27.96%)8,224千円 (6,583千円) ◆R7年度目標 現年分町税徵収率99.3%(国保税は除く)	【徵収実績()内は国保税】 ・R2年度 現年 97.12%(97.04%) 滞縁 12.31%(25.01%) 10,340千円 (9,399千円) ・R3年度 現年 99.14%(97.01%) 滞縁 31.33%(22.42%)33,718千円 (7,412千円) ・R4年度 現年 99.12%(97.05%) 滞縁 9.89%(18.87%)8,147千円 (5,836千円) ・R5年度 現年 99.23%(97.63%) 滞縁 9.89%(21.17%)7,850千円 (6,388千円) ・R6年度 現年 99.22%(97.63%) 滞縁 11.66%(27.96%)8,224千円 (6,583千円) ◆R7年度目標 現年分町税徵収率99.3%(国保税は除く)	町税徵収率(現年度分)(町税現年分徵収率)	98.91% ※5年間の平均(H27 ～R1)	99.10%	99.12%	99.23%	99.22%	99.00%	税務 室
			实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	・ふるさと納税の募集及び広告入り 封筒を募集した。 (ふるさと納税額: 41,352千円) ・国の認定を受け、令和6年度から 企業版ふるさと納税の受付を開始し た。 (企業版ふるさと納税額: 10,300千 円)	毎年、継続実施。								
	4 財 政 公 開 状 況 の 情	1 町ホームページやCAT Vを利用した情 報提供	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	予算・決算状況、町長交際費、職員 給与などを町HP、広報等を利用し 積極的に情報提供した。	毎年、継続実施。								総務 課
		2 公会計改革 への取り組み (財務諸表の 作成)	实 施	实 施	实 施	实 施	实 施	令和5年度中の固定資産異動の整 理及び統一的な基準による財務4 表を作成した。	毎年、作成・公表する。								総務 課

5 住民とともに創る持続可能なまち

施策	【分野別施策】 取組の方向性	取組み事項	⑦実施状況					①R6年度の 取組みの具体的な内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	R7年度までの具体的目標 取組み、達成数値の目標など (現状と比較できるように記入)	②数値目標及び目標達成状況						室 室
			R3	R4	R5	R6	R7 (予 定)			内容	策定期 R2	実績 R3	実績 R4	実績 R5	実績 R6	目標 R7
③ 広域行政	・新たな課題に対して周辺地域との連携を図り、広域行政を推進します。 ・従来から広域行政として取り組んでいる業務の効率化・経費削減に取り組みます。	1 広域行政の推進	1 広域行政による効率化される事務の検討	実施	実施	実施	実施	鳥取県西部広域市町村圏計画(H24～R8)の実施調査、見直しを行っている。	鳥取県西部広域市町村圏計画(H24～R8)の実施調査、見直しを行う。							経営企画室
		2 広域行政のコスト削減	実施	実施	実施	実施	実施	県西部広域行政管理組合及び構成市町村での行政改革大綱作成及び実施計画の評価を毎年行っている。	県西部広域行政管理組合及び構成市町村での行政改革大綱作成及び実施計画の評価を毎年行う。							経営企画室